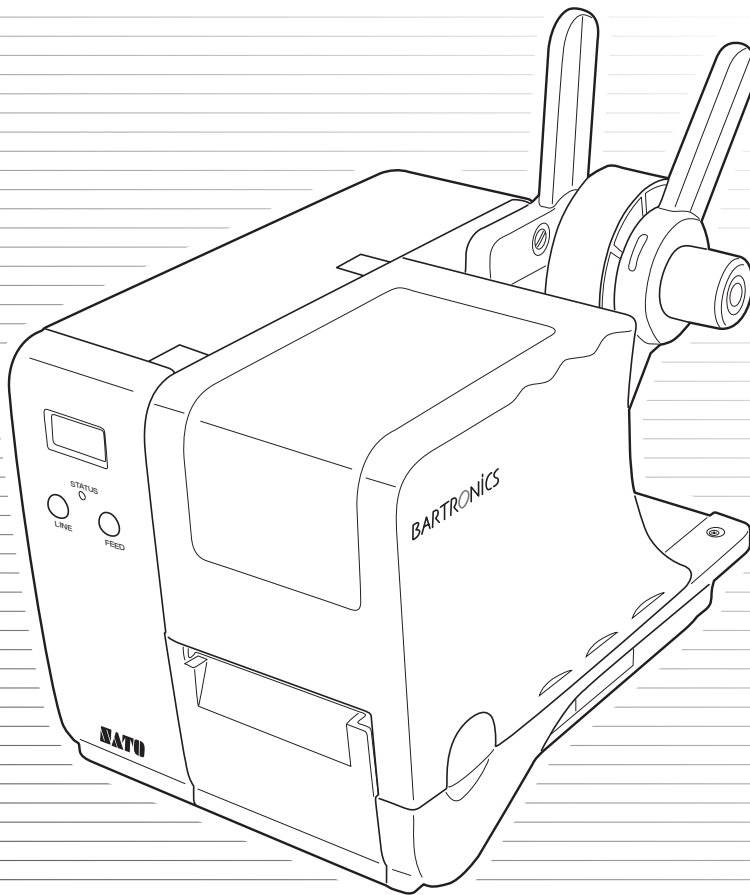


BARTRONICS®
RT308R

取扱説明書



はじめに

このたびは、当社バーコードプリンタパートロニクス RT308R をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本書は、はじめて RT308R をお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、RT308R の機能を理解し、正しくお使いください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

目次

安全上のご注意	4
設置および取り扱い上の注意	8
1. 箱から出しましょう	10
添付品の確認	11
2. 各部の名称	12
3. 電源を入れてみましょう	15
電源コードを接続する	15
インタフェースケーブルを接続する	16
Key-Bo（簡易入力装置）を接続する	16
電源を入れてみる	17
電源を切る	18
4. リボンのセット	19
カーボンリボンのセット	19
カーボンリボンの取り外し	21
5. 用紙の種類	22
6. 用紙のセット方法	24
支管が大きい（内径φ 100mm）場合	24
支管が小さい（内径φ 40mm）場合	26
標準ユニットの用紙セット	27
用紙の切り取り方	28
オプションユニットでのセット方法	29
7. インタフェースボードの設定	48
インタフェースボードの取り外し	48
LAN インタフェースボードの設定	49
シリアルインタフェースボード（RS-232C）の設定	50
8. 動かしてみましょう	51
操作パネル部	51
操作の流れ	52
詳しい説明	53
プリンタ設定	54
用紙選択モード	56
ユーザモード	57

インタフェースモード	62
アドバンスドモード	73
HEX ダンプモード	89
テスト印字モード	90
デフォルト設定モード	93
初期設定値一覧	96
LCD 移行図	98
 9. あれ？どうしたのかな？	 107
エラーメッセージ	107
こんなときは？	110
ボリューム調整	114
オフセット位置の調整	115
 10. お手入れ	 116
 11. 基本仕様	 120
 12. アフターフォローについて	 123
 索引	 125

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

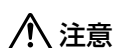
絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害が発生するおそれがあることを示しています。

表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

水などの入った容器を置かない



プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



内部に異物を入れない



プリンタの開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



**警告**

指定以外の電圧は使用しない



指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

必ずアース線を接続して



必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

落としたり、破損したときは



プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

異常な状態で使用しない



万一、プリンタから煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

分解しないでください



プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。

カッタについて



カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。

ヘッド清掃液の取り扱いについて



- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違っって飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

湿度が高い場所に置かない



プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

電源



濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近づけた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。
- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

カバー



カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。

⚠ 注意

サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの交換は、ケガ、火傷および感電のおそれがありますので、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。

サーマルヘッドの開閉



サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

用紙のセット



ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。

カッタについて



カッタは刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。

長期間で使用にならないとき



プリンタを長期間で使用にならないときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れ・清掃のとき



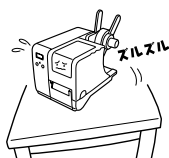
プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

設置および取り扱い上の注意

次のことに注意して、本プリンタの設置・取り扱いを行ってください。

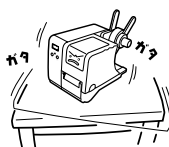
設置場所について

水平な場所に置いてください。



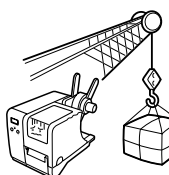
設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

振動のある場所には置かないでください。



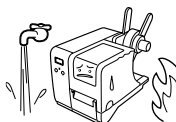
振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。

クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。



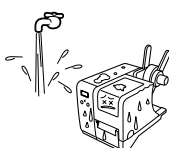
クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本プリンタの誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。

高温・多湿の場所には置かないでください。



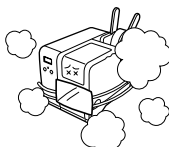
温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。

水や油が飛び散る場所には置かないでください。



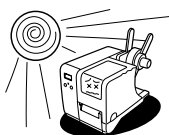
プリンタを水や油が飛び散る場所に設置しないでください。水や油がプリンタ内部に入り込み、火災・感電・故障の原因になります。

ほこりを避けて使用してください。



ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、本プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

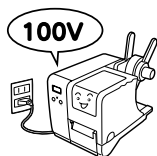
直射日光の当たる場所を避けて使用してください。



本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

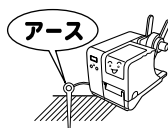
電源について

本プリンタは、AC100Vの交流電源が必要です。



必ず AC100V の交流電源につないでください。
本プリンタの誤動作や故障のおそれがあります。

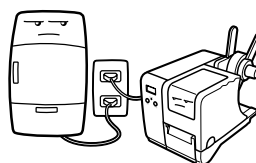
必ずアース線を接続してください。



アース設備がない場合は、アース設備工事を行ってください。

電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒータや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

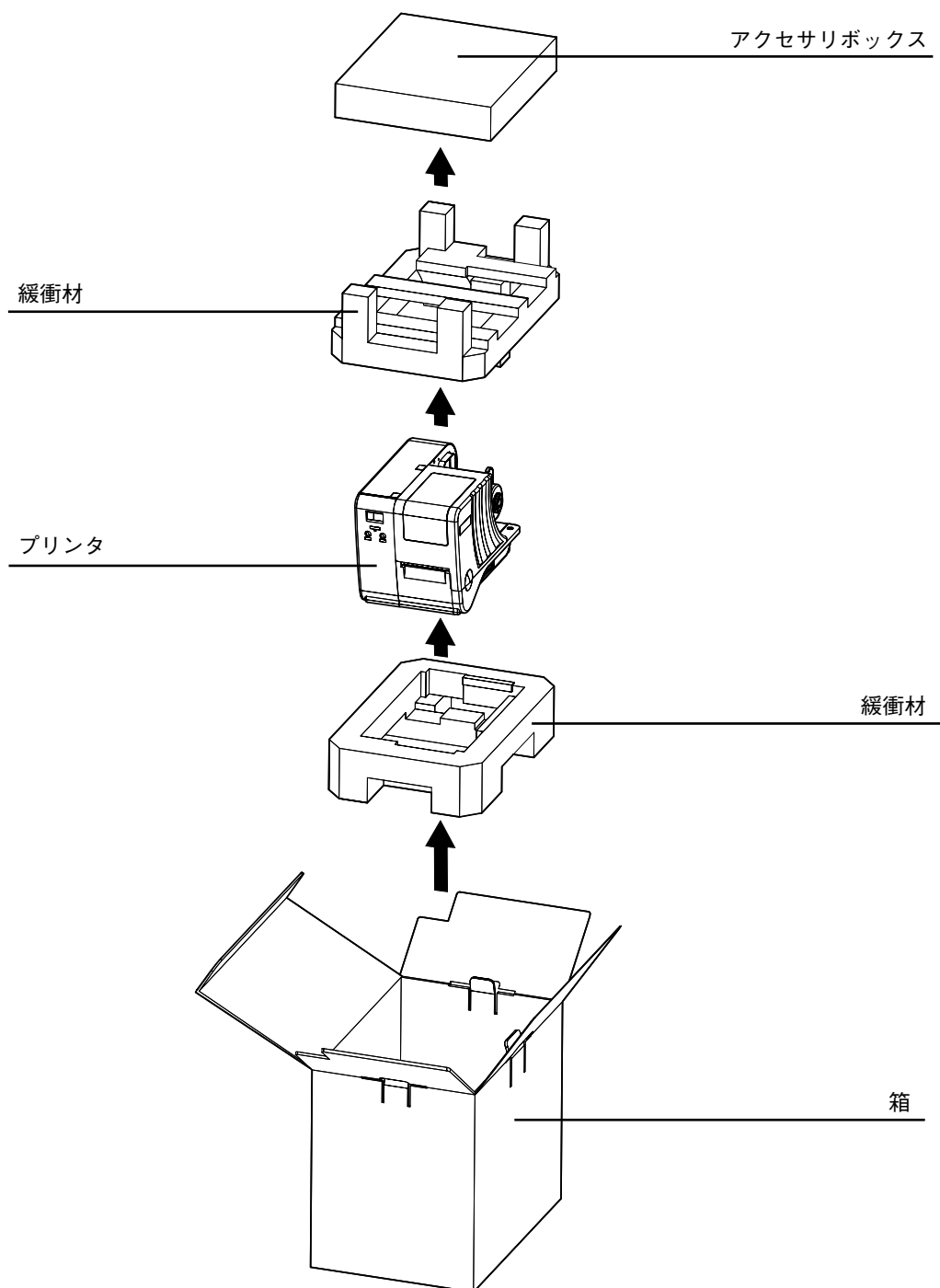


1. 箱から出しましょう

本プリンタを箱から出して設置します。

1

箱から出しましょう



* 緩衝材（プリンタ押さえのクッション）の形状が一部異なる場合があります。

添付品の確認

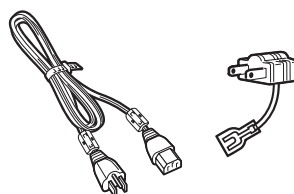
箱を開けたら、次の添付品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入した販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



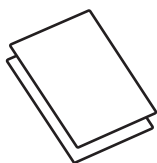
保証書



支管（巻取用）



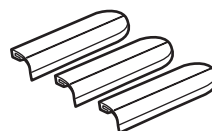
電源コードと
3 極 -2 極変換アダプタ



ダウンロードガイド
安全上のご注意



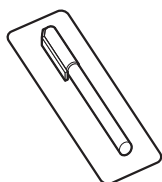
ボス（4 インチコア用
アダプタ）



ガイドプレート（延長用紙
ガイド）



取扱説明書（本書）

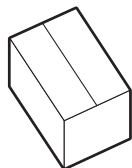


クリーニングペン



ネジ（ボス固定用）

保証書と梱包箱について



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より 6 か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザ登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

また、本プリンタを梱包していた箱と緩衝材（プリンタ押えのクッション）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。

2. 各部の名称

2

各部の名称

① ディスプレイ

エラーメッセージ、操作メッセージを表示します。

② STATUS (LED)

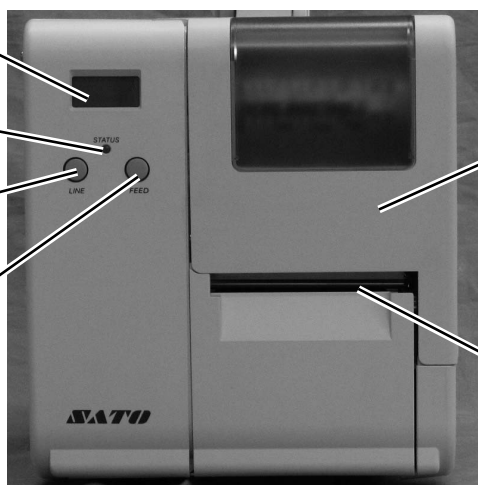
プリンタの状態を赤／緑ランプの点灯／点滅で表示します。

③ LINE キー

印字のスタート／ストップおよびデータ送受信の ON / OFF を切り替えます。

④ FEED キー

オフライン状態で1回押すと、1枚分の用紙を送り出します。



前面

⑤ カバー

用紙・リボンなどをセットする際に開閉します。

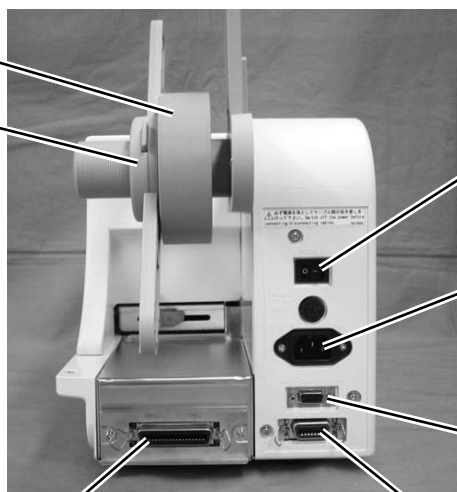
⑥ 用紙排出口

発行されたタグ・ラベルが出てきます。オプションの各ユニットによって形状は異なります。

⑦ ボス (4 インチコア用アダプタ)

添付品として同梱されています。

⑧ ロール紙押さえ



背面

⑩ 電源スイッチ

電源を ON / OFF します。

⑪ AC入力電源端子

電源ケーブルを接続します。

⑫ Key-Bo (簡易入力装置) 接続端子*

オプションの Key-Bo (簡易入力装置) を接続します。

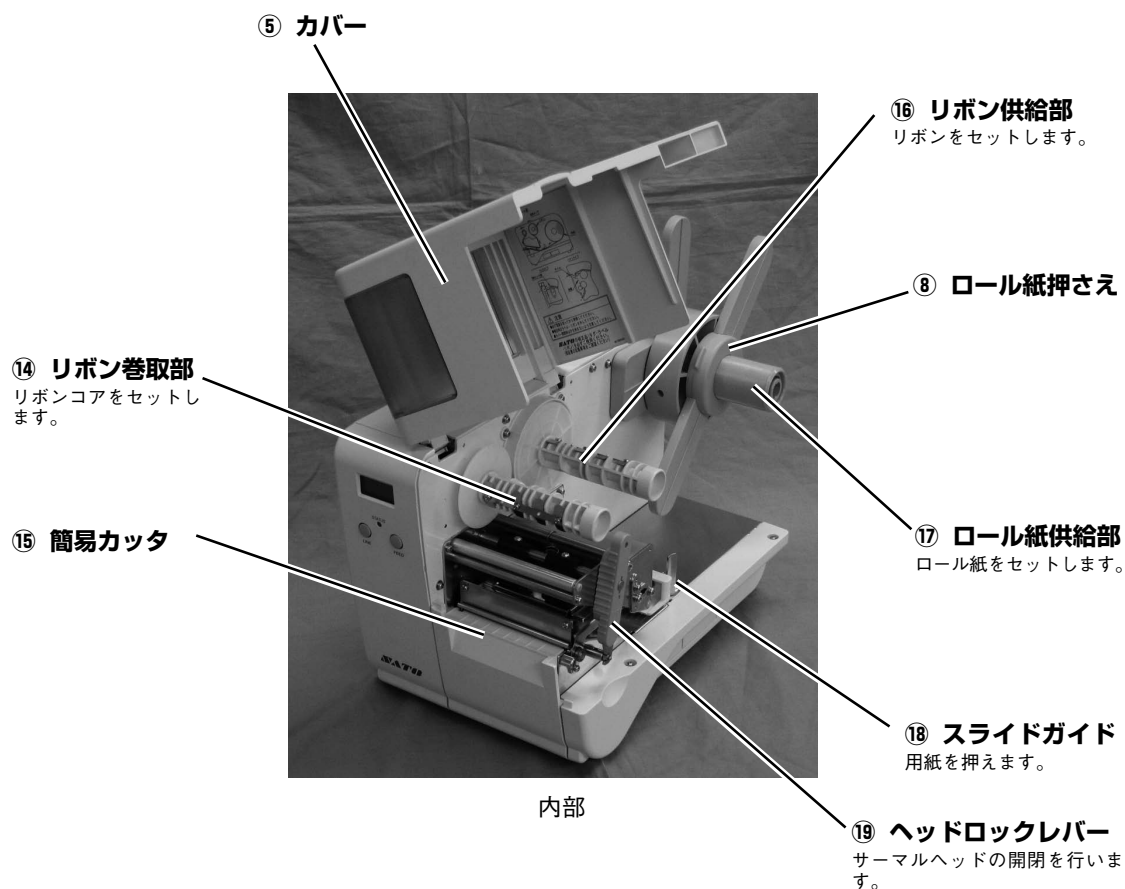
⑬ EXT コネクタ端子

外部信号インタフェースコネクタです。

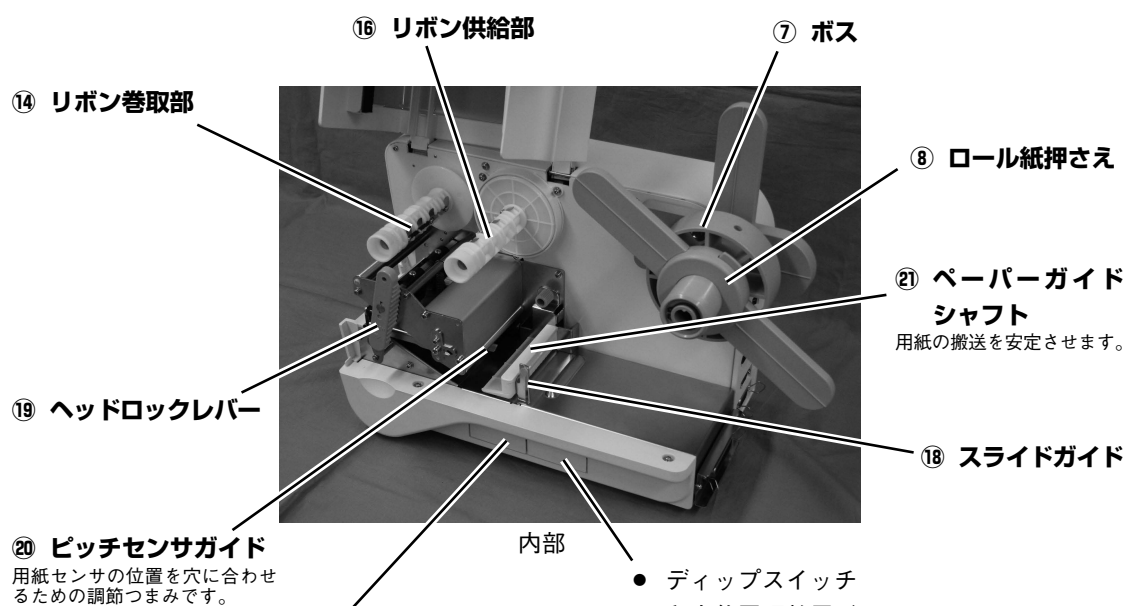
⑨ インタフェーススロット

オプションのインタフェーススロットです。PCなどに接続する際に使用します (48 ページ参照)。

* Key-Bo (簡易入力装置) 専用となります。パソコンなどとの RS-232C 通信はできませんので、Key-Bo 以外は絶対に接続しないでください。



内部



内部

工場調整用ボリューム
(特に指示がない限り
変更しないでください)

- ディップスイッチ
- 印字位置調整用ボリューム
- オプション位置（カット位置、ハクリ位置、ティアオフ停止位置）の調整用ボリューム
- 印字濃度調整用ボリューム

② サーマルヘッド

用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れしてください（消耗品）。

③ プラテンローラ

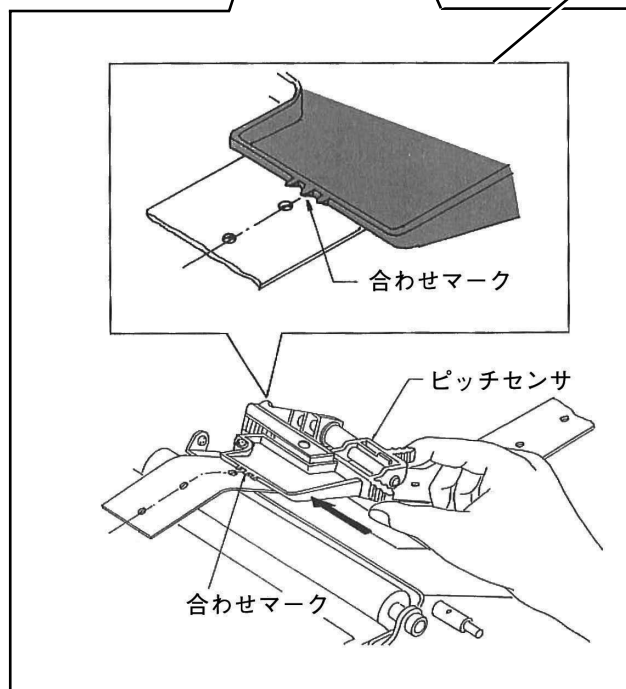
用紙を送ります。定期的
にお手入れしてください（消
耗品）。

① ヘッドロック レバー

④ ピッチセンサ

用紙のピッチサイズを
検出します。
定期的にお手入れをし
てください。

内部



3. 電源を入れてみましょう

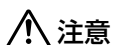
電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する



警告

- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



注意

本プリンタに付属の電源コード、3 極 -2 極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

① プリンタ背面の AC 入力電源端子に電源コードを接続します。

差し込む向きを確認してください。

プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。



② 電源コンセントに電源コードを差し込みます。

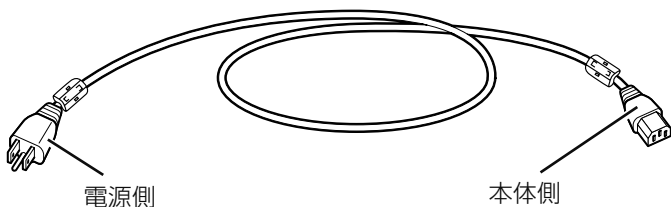
添付の電源コードのプラグの形は、3 極タイプになっています。3 本の足のうち 1 本がアース線になっています。

ご使用の電源コンセントが 3 極タイプの場合はそのまま電源コードを差し込んでください。

電源コンセント



電源側



本体側

電源コンセントが 2 極タイプの場合は、付属の 3 極 -2 極変換アダプタを使い、右図のように必ずアース線を接続してください。

3 極 -2 極変換アダプタの保護キャップを外し、アース線をアース端子に接続してから差し込みプラグを接続してください。

電源コンセント



保護
キャップ



電源側

3 極 -2 極
変換アダプタ

アース線

インタフェースケーブルを接続する

お選びいただいたオプションによってインタフェースは異なります。

それぞれの規格に適合したケーブルをご使用ください。

- パラレルインタフェースボード (IEEE1284)
- シリアルインタフェースボード (RS-232C)
- USB インタフェースボード
- LAN インタフェースボード

差し込む向きを確認してください。

プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。



3

電源を入れてみましょう

Key-Bo (簡易入力装置) を接続する

オプションの簡易入力装置を接続します。

❶ プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

❷ プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。

コネクタの差し込む向きを確認してください。



❸ コネクタにある2つのネジを手で回して固定してください。



ネジ



電源を入れてみる

⚠ 警告

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プリンタ本体背面の電源スイッチをオンにします。

「ー」と書いてある側を押してください。

電源スイッチをオンにするとディスプレイに「ONLINE」と表示されます。

ONLINE
000000

Key-Bo（簡易入力装置）接続時は「*」が表示されます。

*ONLINE
000000



3

電源を入れてみましょう

今までに行った準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「ONLINE」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」（107ページ）を参照し、準備を直してください。

電源を切る

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

- ❶ [LINE] キーを押し、オフライン状態にします。

本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを必ず確認してください。

OFFLINE
000000

- ❷ プリンタ本体背面の電源スイッチをオフにします。

「○」と書いてある側を押してください。



4. リボンのセット

- 本プリンタのカーボンリボンは、当社純正品をお使いください。
- 規格以外のカーボンリボンは使用しないでください。

カーボンリボンのセット

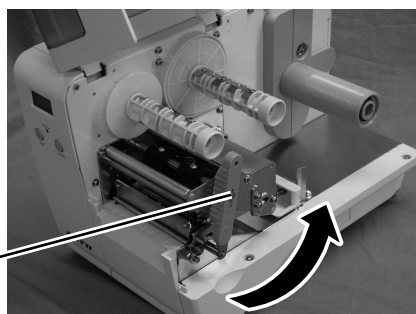
- ① カバーを開けます。



- ② 紫色のヘッドロックレバーを反時計回りに回転させます。

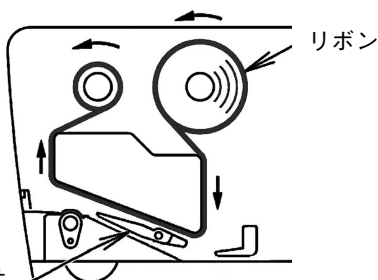
サーマルヘッドが開きます。

ヘッドロックレバー

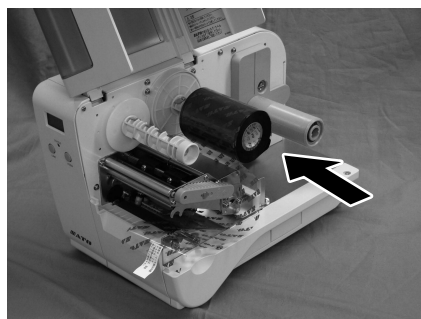


- ③ カーボンリボンのテープ留めを外し、リボン供給部にカーボンリボンを入れます。

巻き方向に注意して、奥まで入れてください。

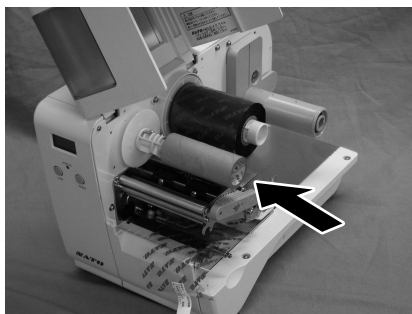


ピッチセンサ
(紫色のパーツ) リボンルート図



④ リボン巻取部にリボンコアをセットします。

奥まで入れてください。

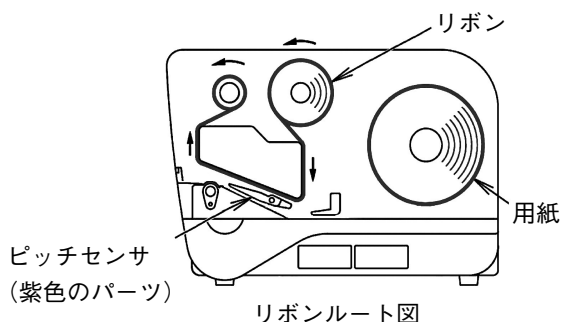
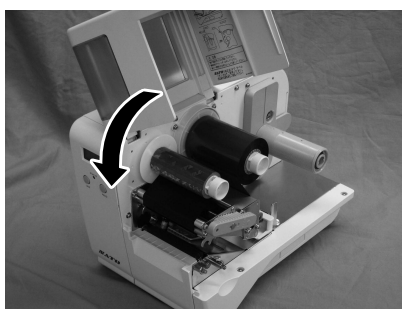
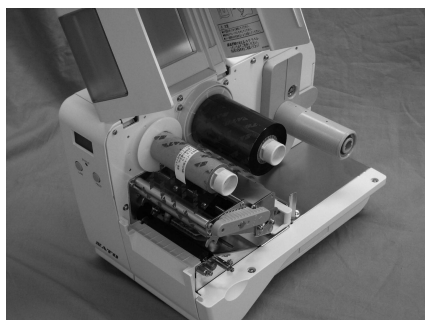


⑤ カーボンリボンをリボン供給部からサーマルヘッドの下を通して、リボン巻き取り部へ通します。

リボンコアにカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻き取ります。

リボンコアにリボンを貼り付ける際は奥側が合うようにします。

横から見て下図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。



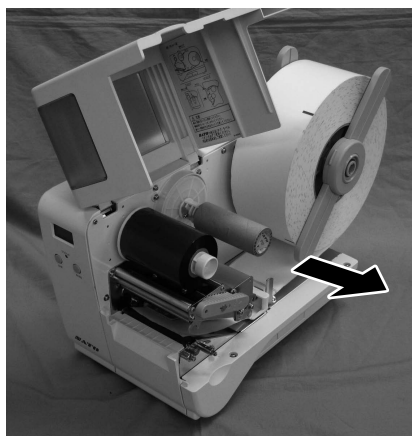
⚠ 注意

- リボン巻取部に直接リボンを巻きつけないでください。必ずリボンコアを使用してください。
- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- カーボンリボンがピッチセンサの下を通らないようにしてください。

⑥ リボンをセットしたら「用紙のセット方法」(24 ページ) に進んでください。

カーボンリボンの取り外し

カーボンリボンはリボンコアと一緒に、矢印の方向に抜き取ってください。



⚠ 注意

- カーボンリボン 1 巻ごとに、巻き取ったカーボンリボンを必ず取り除いてください。
- カーボンリボンを取り除く際、手がインクで汚れる場合があります。

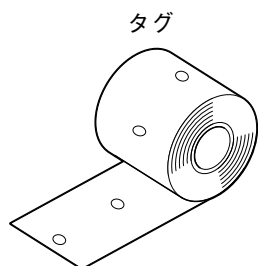
5. 用紙の種類

本プリンタはタグ3種類、ラベル2種類の合計5種類の用紙タイプを使用できます。
タグとラベルは用紙のセット方法が異なります。

- 本プリンタの用紙は、当社純正品をお使いください。
- 規格以外の用紙は使用しないでください。

5

用紙の種類

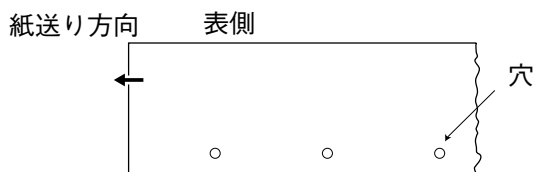


タグ

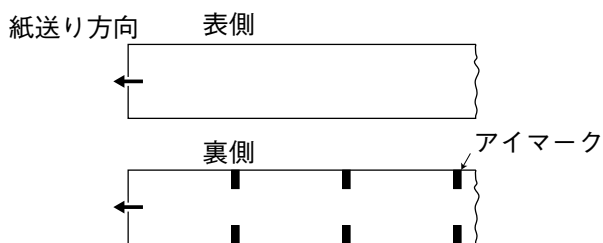
センター
ホールタグ

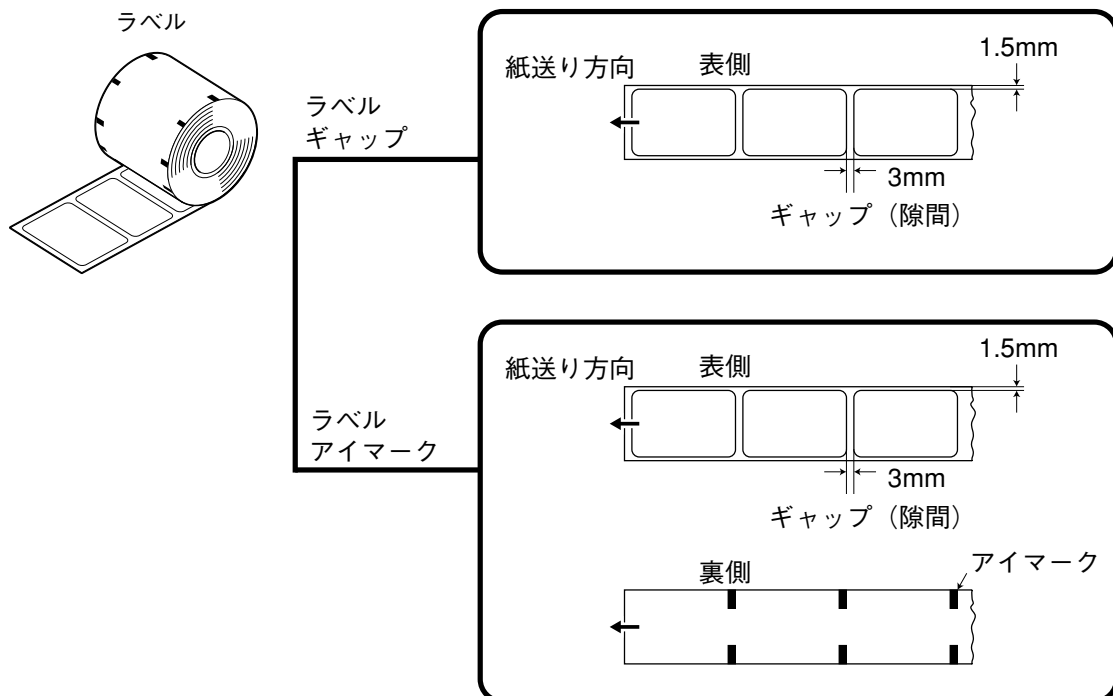


横長タグ
(横ホールタグ)

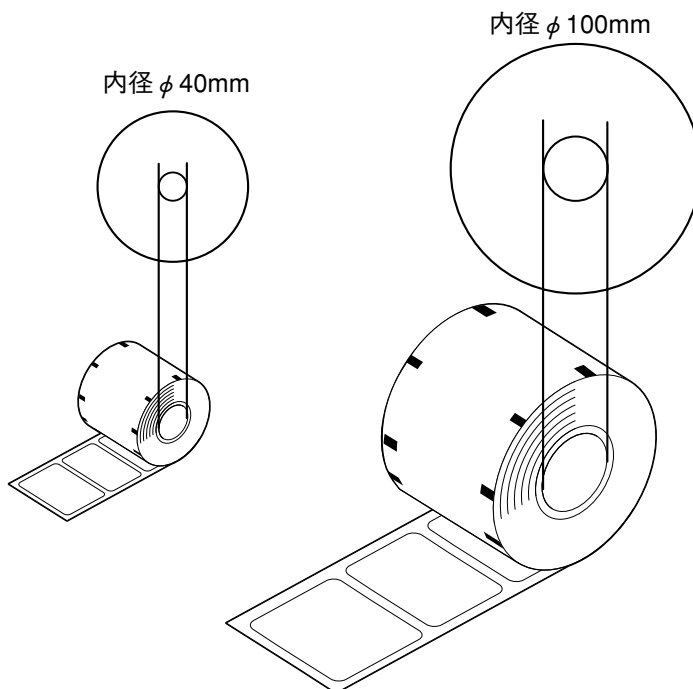


アイマーク
タグ





本プリンタは2種類の支管タイプに対応しています。



6. 用紙のセット方法

本プリンタはロール紙供給部を開くことにより、大巻のロール紙に対応しています。支管が小さい（内径φ40mm）ものについては「支管が小さい（内径φ40mm）場合」（26ページ）を参照してください。大巻の用紙を使用する場合は、同梱のガイドプレート（延長用紙ガイド）をセットします。

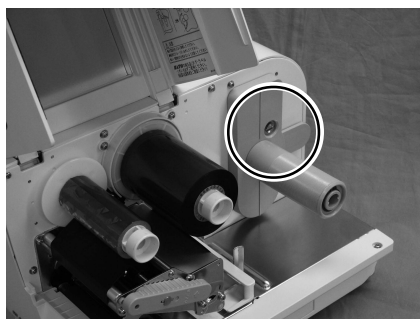
用紙のセット

支管が大きい（内径φ100mm）場合

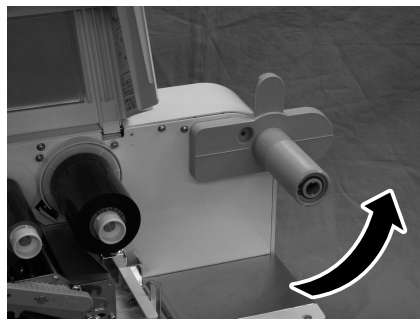
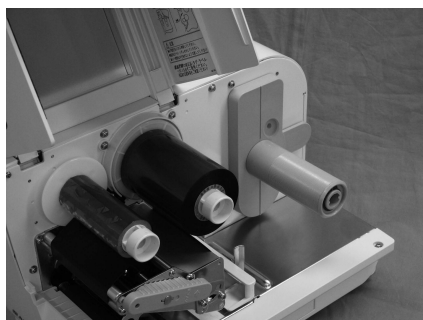
以下の手順は「カーボンリボンのセット」（19ページ）からの続きの手順となります。

- ① ロール紙供給部を固定しているネジを外します。

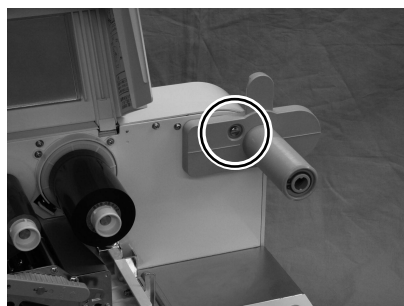
マイナスドライバでネジを外してください。



- ② 反時計回りに回転させます。

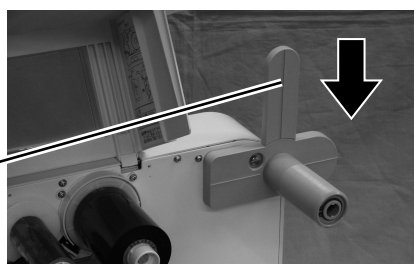


- ③ 手順1で外したネジで固定します。



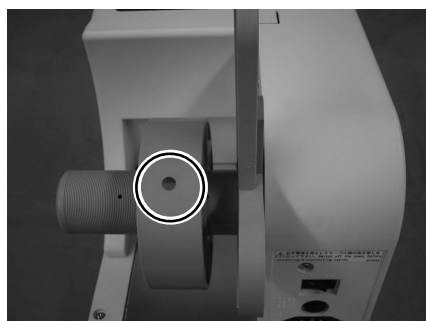
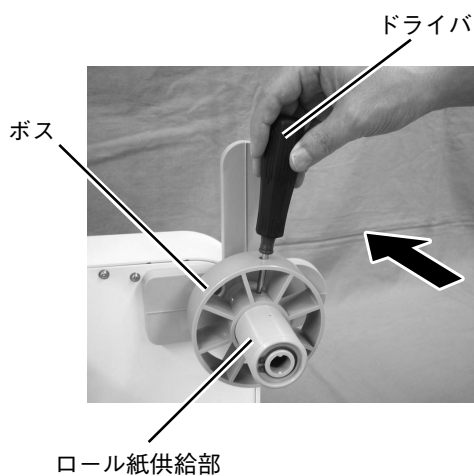
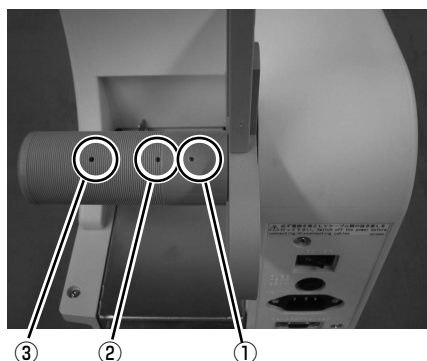
- ④ ガイドプレート（延長用紙ガイド）を差し込みます。

ガイドプレート

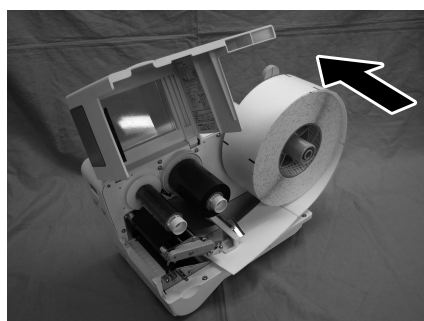
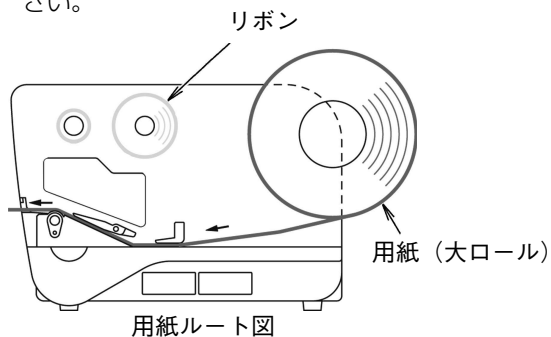


- ⑤ ボス（4 インチコア用アダプタ）の取り付け位置目安表を参考にボスを取り付け、ネジで固定します。

ボスの取り付け位置	用紙幅
取付穴①	50mm以下
取付穴②	50mm～80mm
取付穴③	未使用



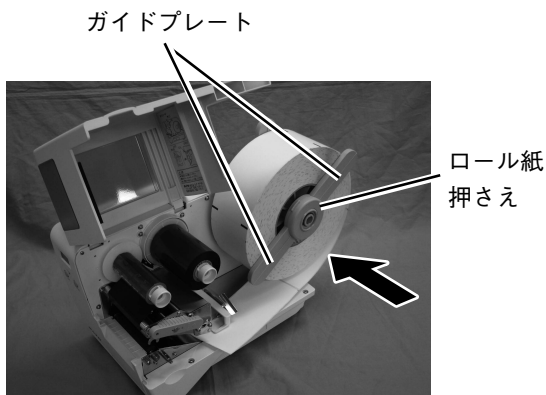
- ⑥ 用紙をセットします。
奥に突き当たるまでしっかりと入れてください。



⑦ ロール紙押さえをセットします。

用紙が大巻（内径φ 100mm）の場合、延長のガイドプレートを取り付けてください。

本項目以降の用紙セットについては、次ページ以降の、それぞれのユニットでの用紙セットを参照してください。

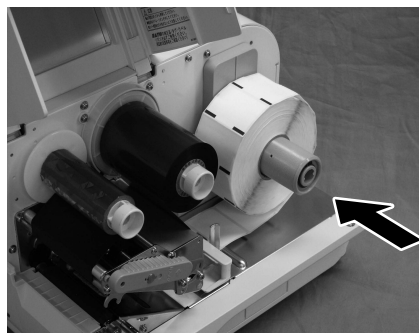
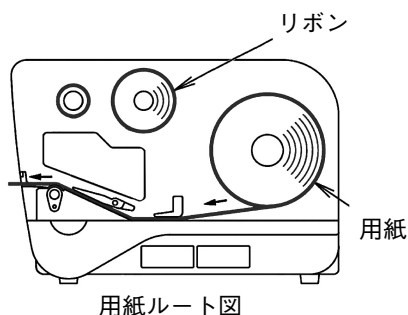


支管が小さい（内径φ 40mm）場合

以下の手順は「カーボンリボンのセット」（19 ページ）からの続きの手順となります。

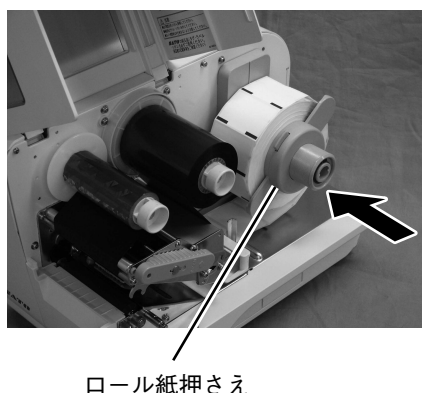
① 用紙をセットします。

奥に突き当たるまでしっかりと入れてください。



② ロール紙押さえを取り付けます。

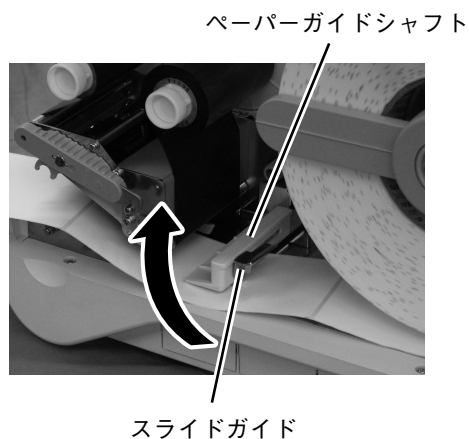
本項目以降の用紙セットについては、次ページ以降の、それぞれのユニットでの用紙セットを参照してください。



標準ユニットの用紙セット

以下の手順は「用紙のセット」(24 ページ)からの続きの手順となります。

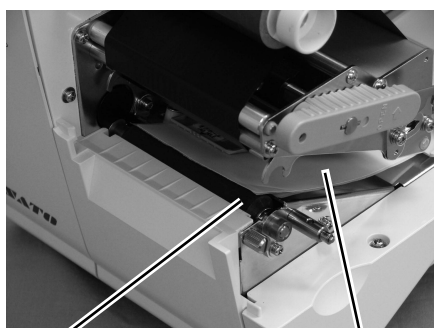
- ① スライドガイドを倒し、用紙をペーパーガイドシャフトの下に通します。



- ② 用紙をピッチセンサの下に通し、プラテンローラ上に用紙の先端がくるようにします。



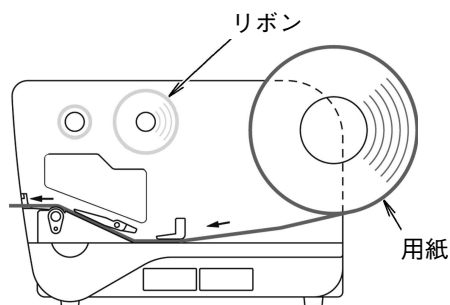
ピッチセンサ



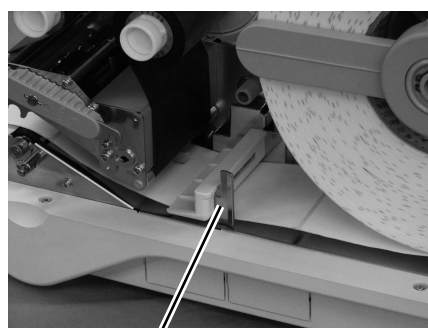
プラテンローラ

用紙

- ③ スライドガイドを立て、用紙を装置奥側に軽く押しつけるように揃えます。

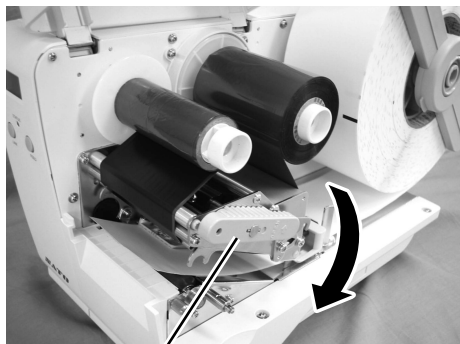


用紙ルート図

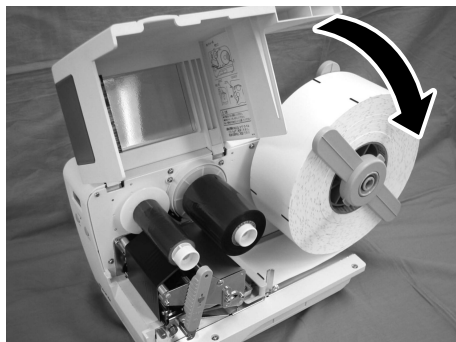


スライドガイド

- ④ ヘッドロックレバーをロックし、カバーを閉じます。



ヘッドロックレバー



⚠ 注意

カバーを閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

6

- ⑤ 電源をオンにし、一度 [LINE] キーを押して「OFFLINE」にします。その状態で [FEED] キーを押します。

用紙が1枚程度排出され、印字位置が調整されます。



- ⑥ [LINE] キーを押して、[ONLINE] にします。

以上で用紙のセットは完了です。

用紙の切り取り方

用紙の片方を持って、ななめ下に軽く引っ張ります（標準ユニットの場合）。



オプションユニットでのセット方法

オプションユニットには、用途によって選べる以下のタイプがあります。ご購入いただいたユニットに対応した説明を参照してください。

- カッタユニット (CTR300) 29 ページ
- 簡易スタッカ (STD300R) 32 ページ
- ハクリユニット (DSD300R) 34 ページ
- 外部巻取ユニット (RWD300R) 38 ページ

外部巻取ユニット (RWD300R) には以下 2 つの使用方法があります。

- 支管巻き時 40 ページ
- ポスカセ 33 * 使用時 45 ページ

カッタユニット装着時の用紙セット

センターホールタグを例に説明します。

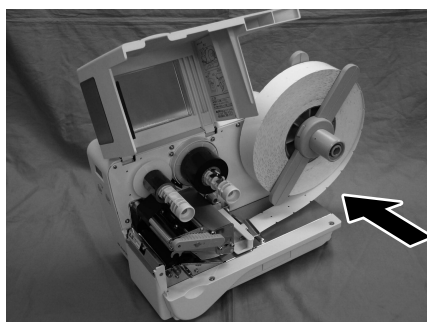
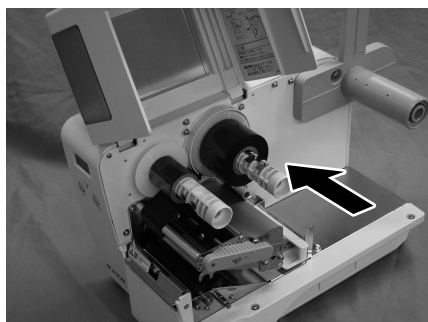
⚠ 注意

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。

❶ カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。

カーボンリボンのセットは「リボンのセット」(19 ページ) を参照してください。

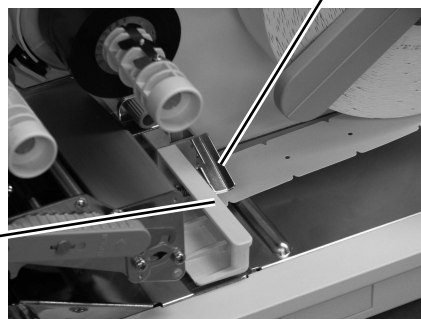
用紙のセットは「支管が大きい (内径φ 100mm) 場合」(24 ページ) または「支管が小さい (内径φ 40mm) 場合」(26 ページ) を参照してください。



❷ スライドガイドを倒し、用紙をペーパーガイドシャフトの下に通します。

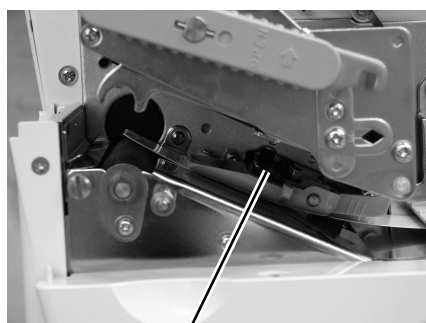
ペーパーガイドシャフト

スライドガイド

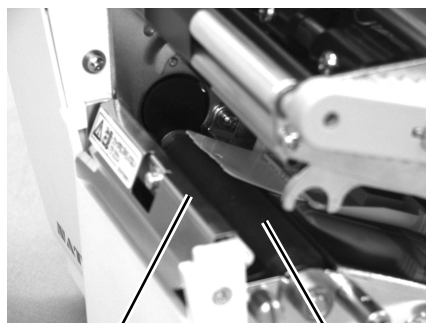


* 発行したラベルを巻き取り、弊社のシールラベラー 33 にセットして使用するための専用カセットです。(別売)

- ③ 用紙をピッチセンサの下に通し、カッタユニットの手前に用紙の先端がくるようにします。
プラテンローラの上に用紙の先端をセットします。



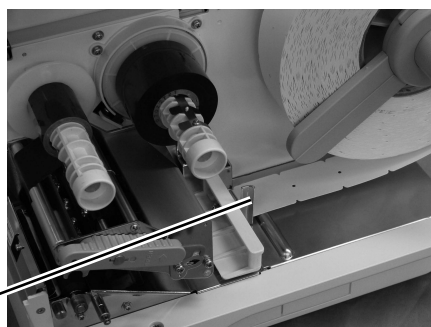
ピッチセンサ



カッタユニット

プラテンローラ

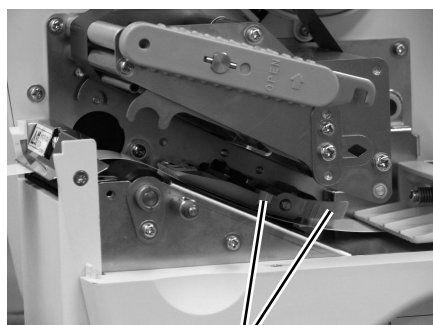
- ④ スライドガイドを立て、用紙を装置奥側に軽く押しつけるように揃えます。



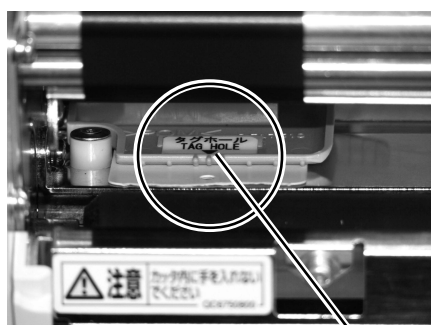
スライドガイド

- ⑤ ホールタグを使用する際には、ピッチセンサガイドをつまんで左右に動かし、センサとタグの穴位置を合わせます（センターホールタグ、横長タグ）。

ステッカが示す突起（合わせマーク）に穴位置がくるように調整してください。



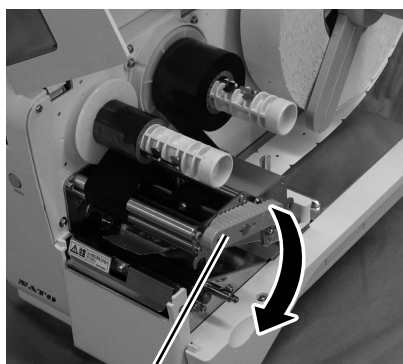
ピッチセンサガイド



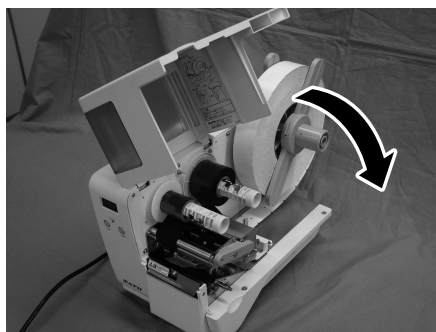
合わせマーク

アイマークタグ、ラベルギャップ、アイマークラベルの場合は、ピッチセンサの位置が一番奥側でご使用ください。

- ⑥ ヘッドロックレバーをロックし、カバーを閉じます。



ヘッドロックレバー



⚠ 注意

カバーを閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

- ⑦ 電源をオンにし、一度 [LINE] キーを押して「OFFLINE」にします。その状態で [FEED] キーを押します。

用紙が 1 枚程度排出され、印字位置が調整されます。



- ⑧ [LINE] キーを押して、[ONLINE] にします。

以上で用紙のセットは完了です。

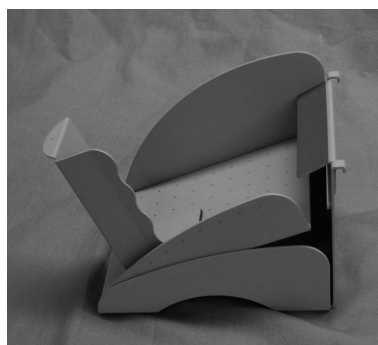
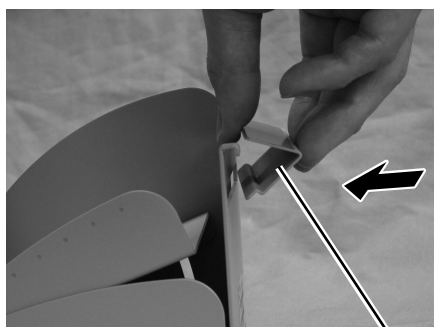
簡易スタッカ（カッタユニットのみ装着）のセット

簡易スタッカはカッタユニットのみ装着できるオプションです。

簡易スタッカで使用できるタグの長さは25～100mmです。

① 簡易スタッカ本体に同梱のガイドプレートを取り付けます。

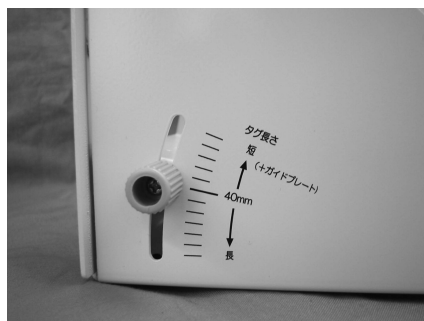
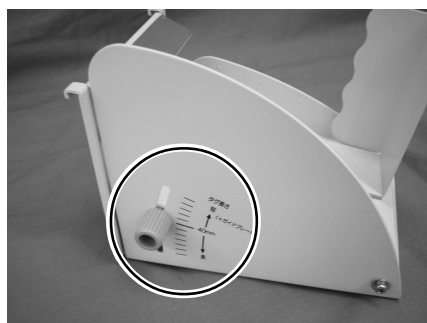
40mm以上の長さの用紙を使用する場合は取り付けないでください。



ガイドプレート

② ツマミを緩めて、下部プレートの傾きを調整します。

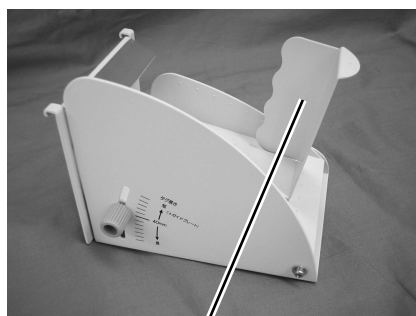
タグの長さに応じて調整してください。



③ 同梱のタグガイドの位置を調整します。

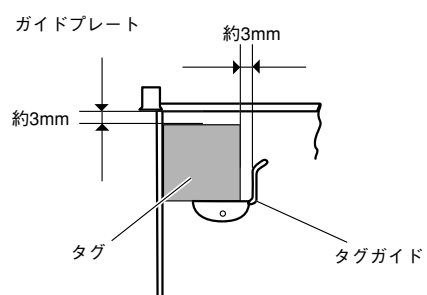
スタック量の目安	
下部プレートの傾き調整位置 (目盛りの位置)	スタック量の目安 (枚)
タグ長さ 短	20～50
タグ長さ 40mm	50～80
タグ長さ 長	100～120

*使用できるタグの長さは25mm～100mmです。

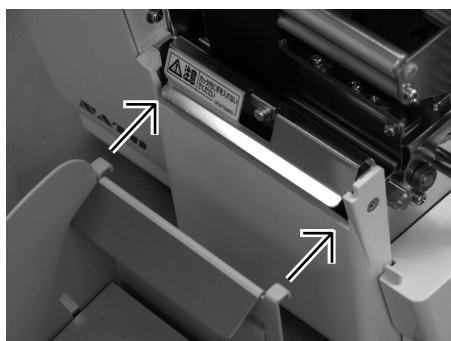


タグガイド

タグガイドをセットするときは、右図のようにガイドプレート側に約3mm、タグの側面に約3mm、隙間をあけてセットしてください。



- ④ 簡易スタッカのツメをカッターユニットの上部にひっかけて、セットします。



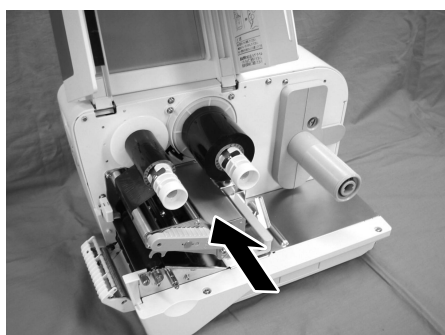
ハクリユニット (DSD300R) 装着時の用紙セット

- ハクリユニットを装着してのタグの使用には対応しておりません。ラベルをご使用ください。
- 使用する用紙の台紙の厚さによっては使用できない場合があります。
- ラベルの長さは25～181mmまで有効です。ただし、使用条件によっては、ラベルサイズを制限することがあります。

① カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。

カーボンリボンのセットは「リボンのセット」(19 ページ) を参照してください。

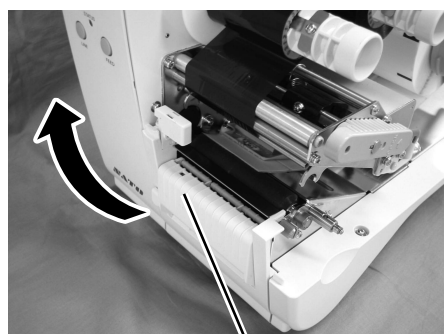
用紙のセットは「支管が大きい(内径φ 100mm) 場合」(24 ページ) または「支管が小さい(内径φ 40mm) 場合」(26 ページ) を参照してください。



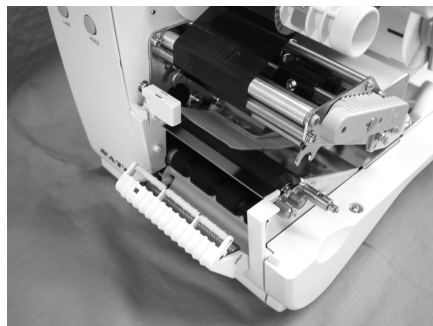
② セットしてあるロール紙の先端から約8cm 分のラベルをはがします。

はがすことで、用紙のセットが容易になります。

③ プレッシャーブラケットを持ち、上に引いてハクリユニットを開けます。

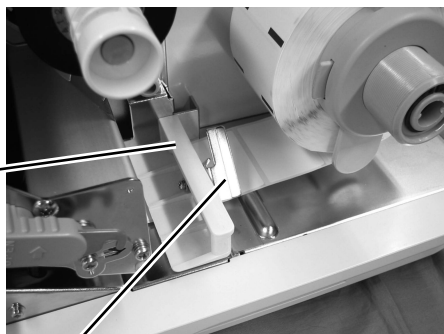


プレッシャーブラケット



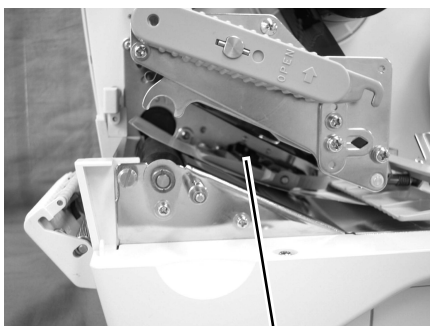
- ④ スライドガイドを倒し、用紙をペーパーガイドシャフトの下に通します。

ペーパーガイドシャフト

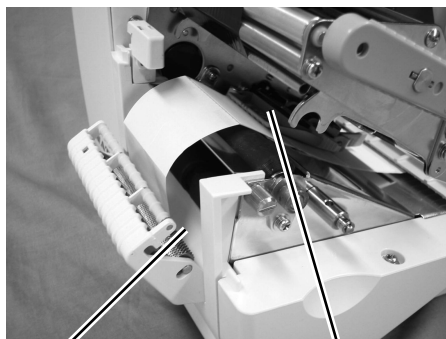


スライドガイド

- ⑤ 用紙をピッチセンサの下に通し、ハクリユニットまで用紙を通します。
ピッチセンサが一番奥側にあることを確認してください。



ピッチセンサ

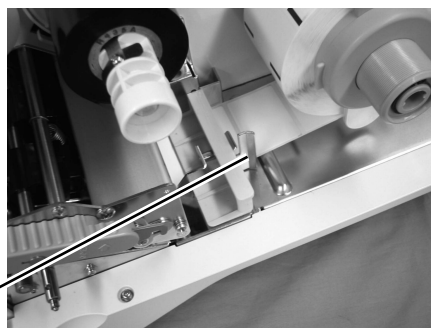


ハクリユニット

ピッチセンサ

- ⑥ スライドガイドを立て、用紙を装置奥側に軽く押しつけるように揃えます。

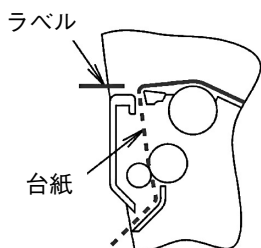
スライドガイド



⑦ ハクリユニットにラベル台紙を通します。

プラテンローラ上に次の用紙の先端がくるようにセットします。

下図の用紙ルートを参考に用紙を通してください。



プラテンローラ

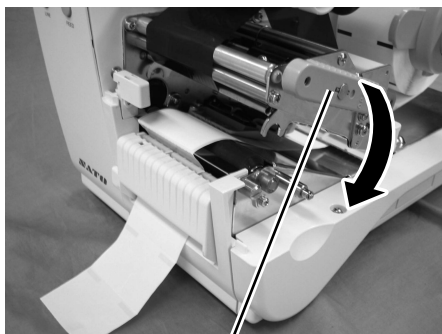
⑧ プレッシャーブラケットをいったん持ち上げ、ハクリユニットをゆっくりと閉じて下に押しします。



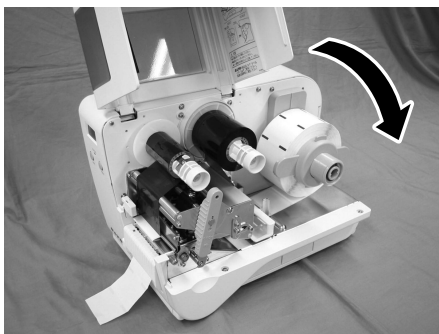
プレッシャーブラケット



⑨ ヘッドロックレバーをロックし、カバーを閉じます。



ヘッドロックレバー



⚠ 注意

カバーを閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

- ⑩ 電源をオンにし、一度 [LINE] キーを押して「OFFLINE」にします。その状態で [FEED] キーを押します。

用紙が 1 枚程度排出され、印字位置が調整されます。



- ⑪ [LINE] キーを押して、[ONLINE] にします。

以上で用紙のセットは完了です。

外部巻取ユニット（RWD300R）装着時のセット

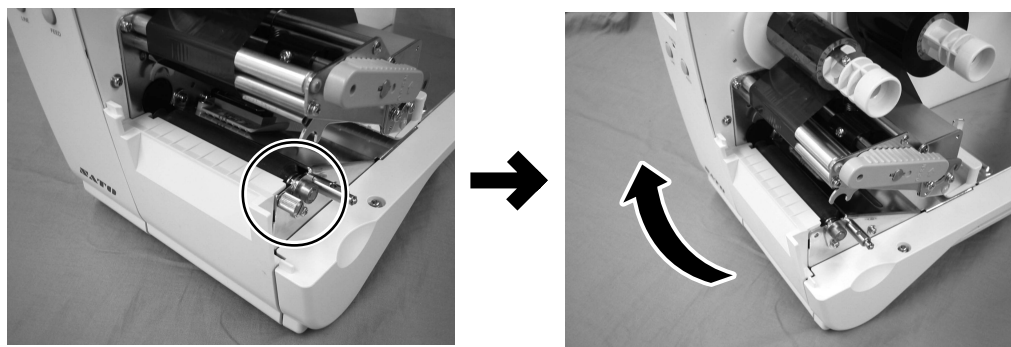
外部巻取ユニットはプリンタ本体のプラテンローラ部のギア部分と外部巻取ユニットのギア部分を組み合わせることにより動作します。

外部巻取ユニットを装着してのタグの使用には対応しておりません。ラベルをご使用ください。

外部巻取ユニットのセット方法

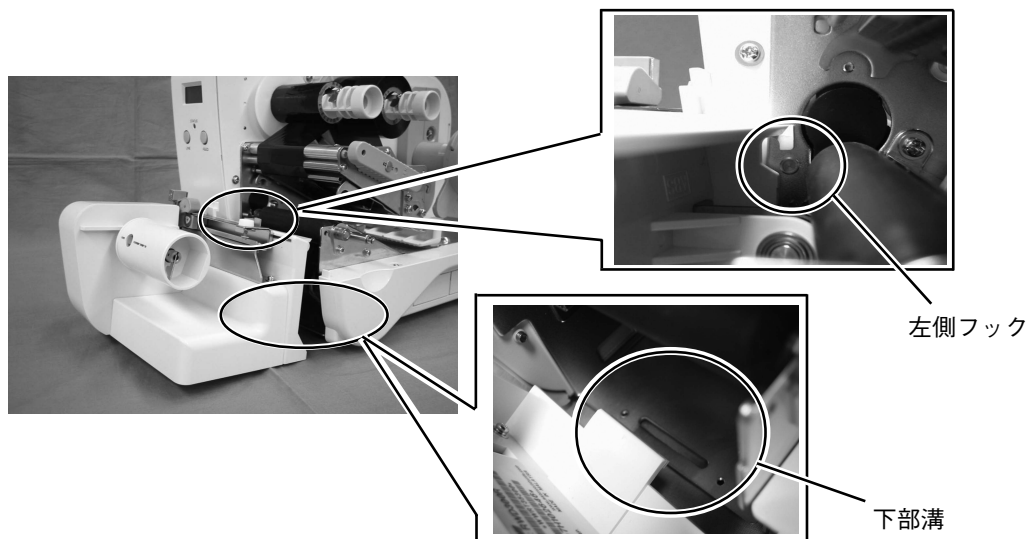
① プリンタ本体に装着されている標準ユニットを取り外します。

スクリーを外し、標準ユニットを取り外します。

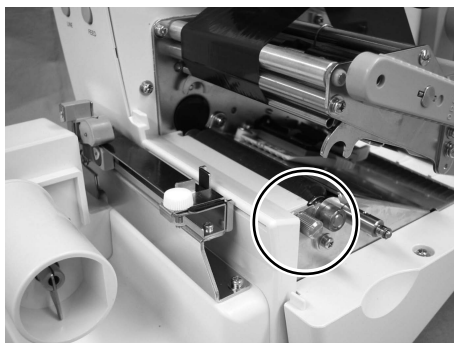


② 外部巻取ユニットをプリンタ本体にセットします。

外部巻取ユニット左側のフックとプリンタ本体下部の溝に合わせ、セットします。



- ③ 手順 1 で外したスクリーンで固定します。

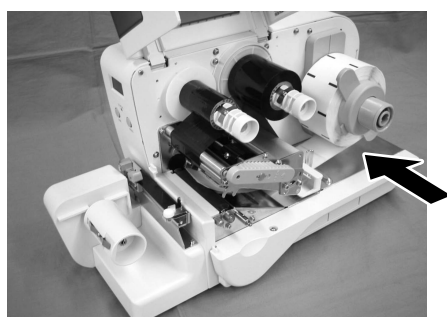
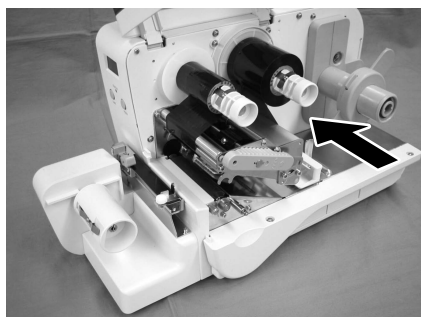


支管巻取り時の用紙セット

❶ カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。

カーボンリボンのセットは「リボンのセット」(19 ページ) を参照してください。

用紙のセットは「支管が大きい(内径 ϕ 100mm) 場合」(24 ページ) または「支管が小さい(内径 ϕ 40mm) 場合」(26 ページ) を参照してください。



6

用紙の
セット
方法

❷ 巻取りボスに支管をセットします。

内径 ϕ 40mm の支管を使用します。

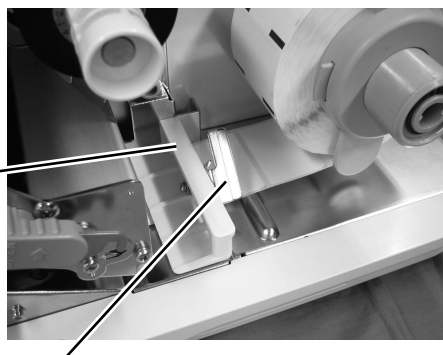
支管は奥まで入れてください。

巻取りボス



❸ スライドガイドを倒し、用紙をペーパーガイドシャフトの下に通します。

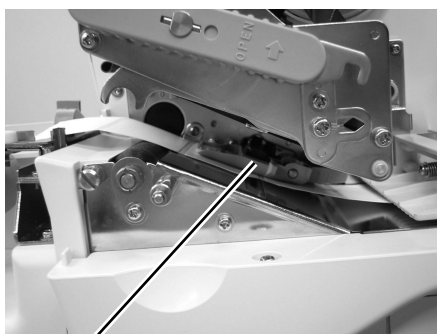
ペーパーガイドシャフト



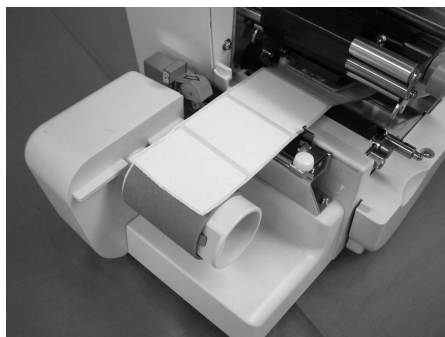
スライドガイド

④ 用紙をピッチセンサの下に通し、巻取りボスまで用紙を通します。

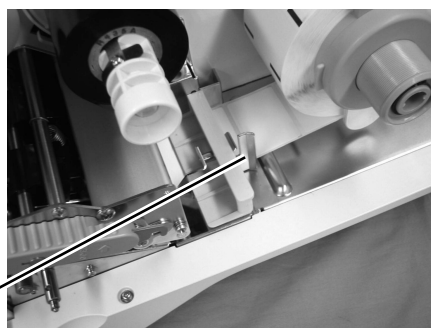
ピッチセンサが一番奥側にあることを確認してください。



ピッチセンサ



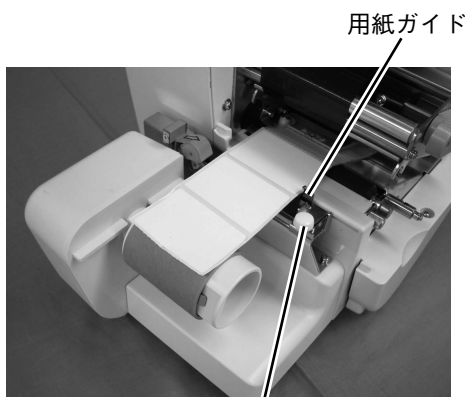
⑤ スライドガイドを立て、用紙を装置奥側に軽く押しつけるように揃えます。



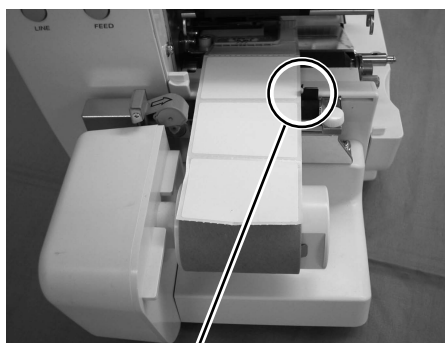
スライドガイド

⑥ 巻取ユニット側の用紙ガイドも用紙幅に合わせます。

スクリューを緩めて用紙ガイドを動かします。



スクリュー



用紙と用紙ガイドの合わせ位置

⑦ ラベルをテープで支管に留めます。

巻取り量の目安は次のとおりです。

- 台紙長さ 28mm (約 500 枚)
- 台紙長さ 35mm (約 400 枚)
- 台紙長さ 45mm (約 300 枚)
- 台紙長さ 50mm (約 280 枚)

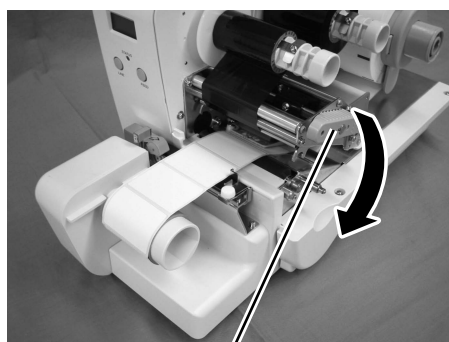
また、巻取り時の最大外径は 70mm です。

巻取り方向は表巻きラベル（ラベル面が外側）のみです。

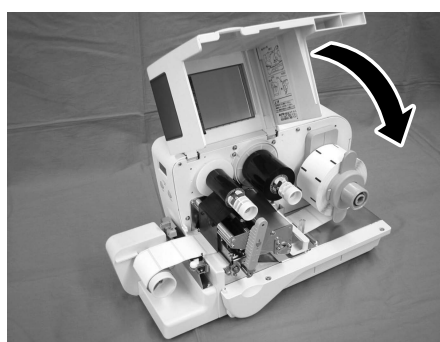


テープ

⑧ ヘッドロックレバーをロックし、カバーを閉じます。



ヘッドロックレバー



⚠ 注意

カバーを閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

⑨ 電源をオンにし、一度 [LINE] キーを押して「OFFLINE」にします。その状態で [FEED] キーを押します。

用紙が 1 枚程度排出され、印字位置が調整されます。



⑩ [LINE] キーを押して、[ONLINE] にします。

以上で用紙のセットは完了です。

マニュアルカッタによるラベルのカット

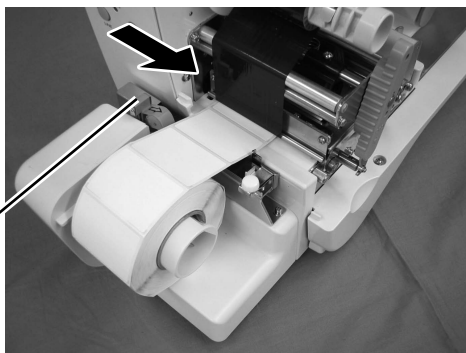
外部巻取ユニットのマニュアルカッタの使用方法を説明します。

- ① ラベルの印字終了後、マニュアルカッタのレバーを矢印の方向に移動します。

レバーを押すようにスライドさせます。

- ② レバーを離すとカッタは元の位置に戻ります。

マニュアルカッタ



⚠ 注意

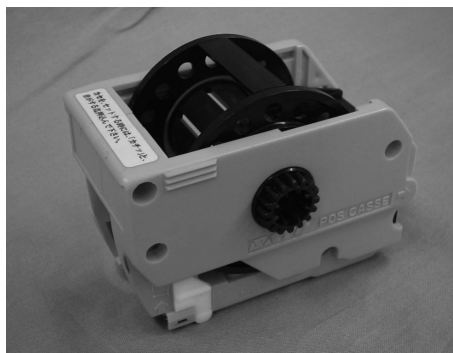
マニュアルカッタは刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。

ボスカセ 33 のセット

ボスカセ 33 は発行したラベルを巻き取り、弊社のシールラベラー 33 にセットして使用するための専用カセットです。(別売)

外部巻取りユニットには購入時、巻取りボスが装着されています。

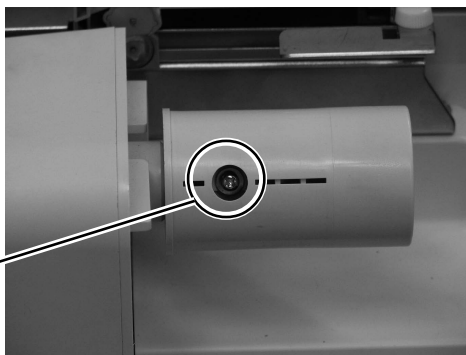
ボスカセ 33 を装着する場合の手順を説明します。



- ① 巻取りボスを固定しているネジを外します。

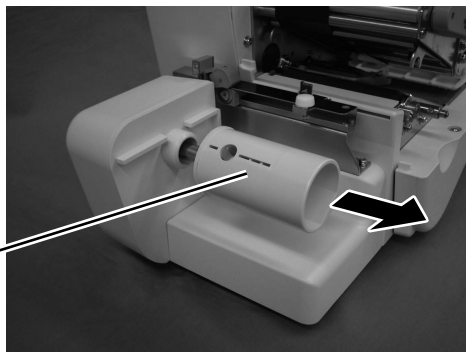
プラスドライバーで外します。

ネジ

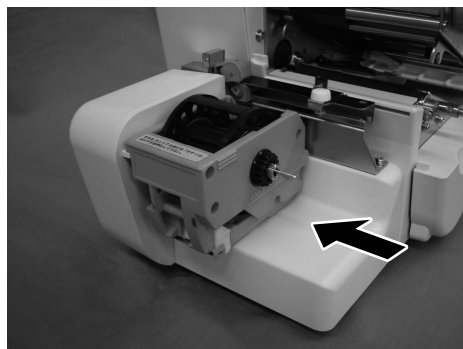


- ② 巻取りボスを取り外します。

巻取りボス

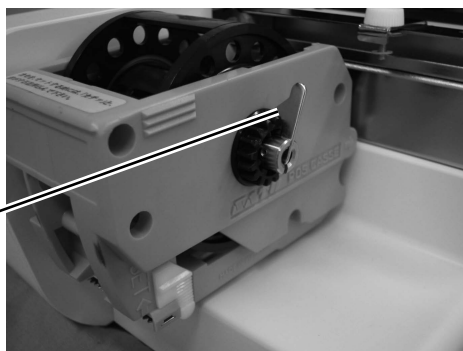


- ③ ポスカセ 33 を取り付けます。



- ④ シャフトレバーを倒し、溝にはめ込みます。

シャフトレバー

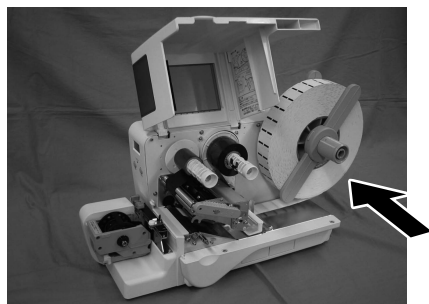
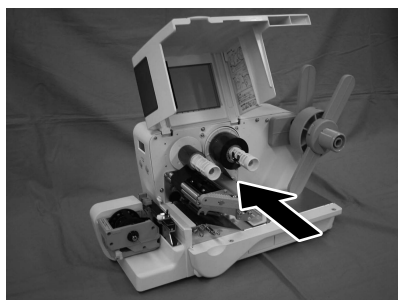


ボスカセ 33 装着時の用紙セット

① カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。

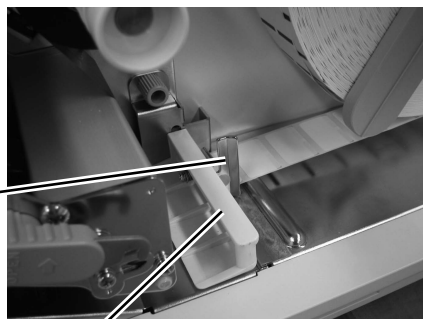
カーボンリボンのセットは「リボンのセット」(19 ページ) を参照してください。

用紙のセットは「支管が大きい (内径 ϕ 100mm) 場合」(24 ページ) または「支管が小さい (内径 ϕ 40mm) 場合」(26 ページ) を参照してください。



② スライドガイドを倒し、用紙をペーパーガイドシャフトの下に通します。

スライドガイド



ペーパーガイドシャフト

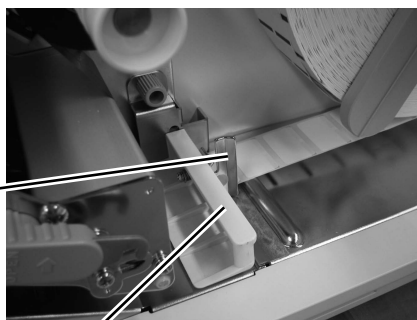
③ ピッチセンサの下を通し、ボスカセ 33 まで用紙を通します。

ピッチセンサが一番奥側にあることを確認してください。



- ④ スライドガイドを立て、用紙を装置奥側に軽く押しつけるように揃えます。

スライドガイド

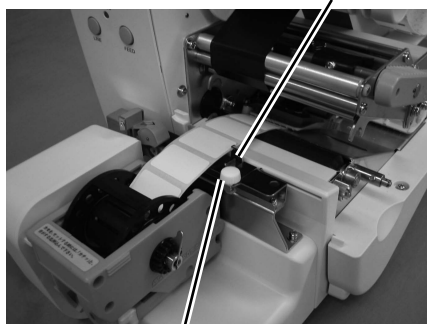


ペーパーガイドシャフト

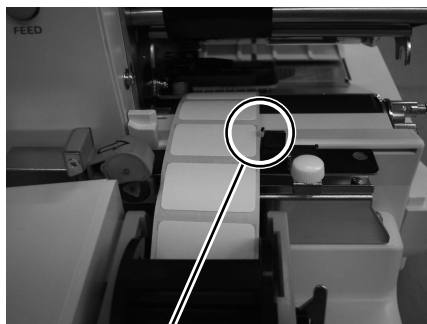
- ⑤ 巻取ユニット側の用紙ガイドも用紙幅に合わせます。

スクリューを緩めて用紙ガイドを動かします。

用紙ガイド



スクリュー

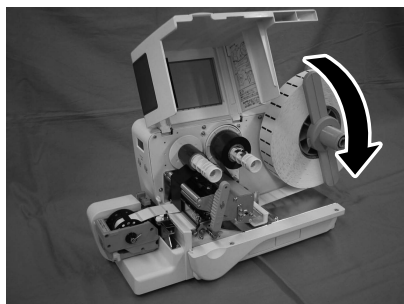
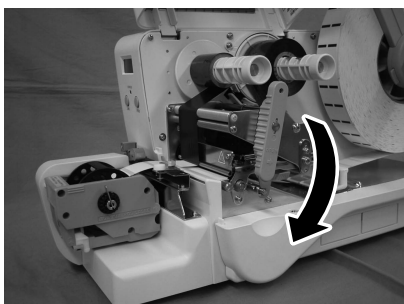


用紙と用紙ガイドの合わせ位置

- ⑥ ポスカセ 33 の溝に用紙を差し込みセットします。



- ⑦ ヘッドロックレバーをロックし、カバーを閉じます。



注意

カバーを閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

- ⑧ 電源をオンにし、一度 [LINE] キーを押して「OFFLINE」にします。



- ⑨ [FEED] キーを2～3回押してください。

2～3枚分用紙が巻かれます。



- ⑩ [LINE] キーを押して、[ONLINE] にします。

以上で用紙のセットは完了です。



7. インタフェースボードの設定

プリンタとパソコンとのデータをやり取りするためのボードです。

- パラレルインタフェースボード (IEEE1284)
- シリアルインタフェースボード (RS-232C)
- USB インタフェースボード
- LAN インタフェースボード

このうち、LAN インタフェースボードには保守用のディップスイッチ、シリアルインタフェースボード (RS-232C) には通信条件を決めるディップスイッチがついています。

ディップスイッチを設定する際は、インタフェースボードを外してください。

本項では、ディップスイッチの設定を変更するための説明をします。

インタフェースボードの取り外し

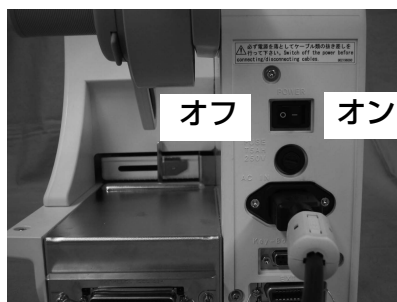
LAN インタフェースボードを例に説明していますが、シリアルインタフェースボードでも同じ手順となります。



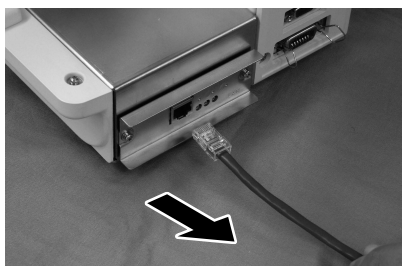
注意

インタフェースボードの取り付け・取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

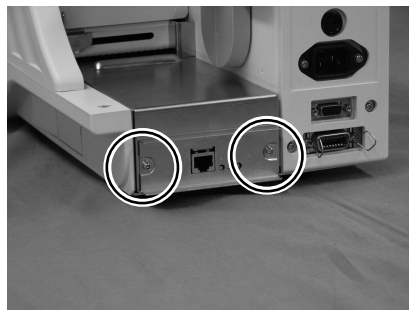
- ① プリンタの電源をオフにします。



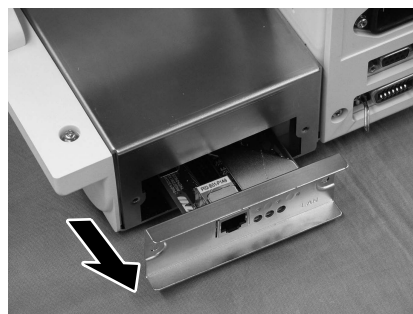
- ② 接続されているケーブルを取り外します。



- ③ インタフェースボードを固定しているネジ2本を外します。



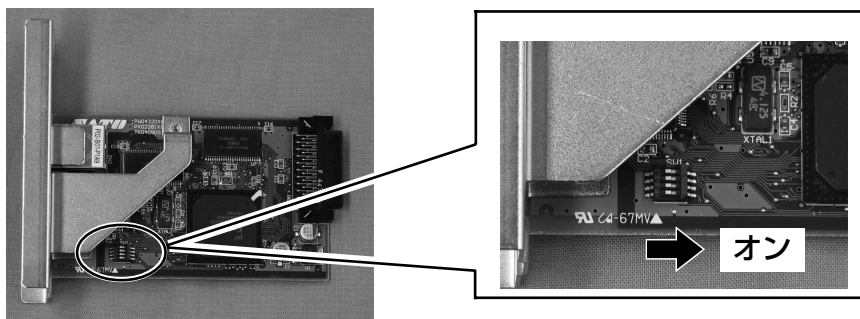
- ④ インタフェースボードを引き抜きます。
取り付けのときは、インタフェースボードを傷つけないよう注意してください。



- ⑤ 設定後はインタフェースボードを元の位置に差し込み、ネジで固定してください。

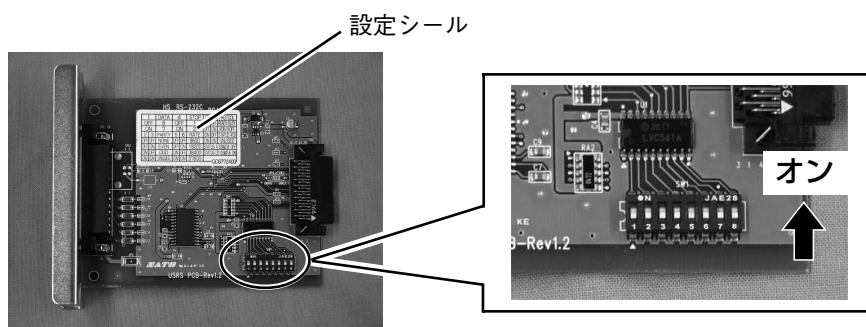
LAN インタフェースボードの設定

プリンタを使用する場合は、すべて OFF の設定で使します。



RT308R LANインタフェース ディップスイッチ表	
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	LANインタフェースボード設定情報初期化
3	LANインタフェースボード設定情報印字（IPアドレスなどの設定情報を印字します）
4	LANインタフェースボード自己診断印字（診断結果を印字します）

シリアルインタフェースボード (RS-232C) の設定



RT308R シリアルインタフェース ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	データ長設定	ON : 7ビット OFF : 8ビット
2 3	パリティビット設定	OFF—OFF : 無し OFF—ON : 偶数 ON—OFF : 奇数 ON—ON : 未使用
4	ストップビット設定	ON : 2ビット OFF : 1ビット
5 6	ボーレート設定	OFF—OFF : 9600bps OFF—ON : 19200bps ON—OFF : 38400bps ON—ON : 57600bps
7 8	通信プロトコル設定	OFF—OFF : READY/BUSY OFF—ON : XON/XOFF ON—OFF : ステータス3 ON—ON : ドライバ専用プロトコル (ステータス4)

シリアルインタフェースボードの設定シールを確認してください。

シリアルインタフェースの設定は、プリンタ本体側の画面操作（インタフェースモード）でも設定できます（62 ページ参照）。

シリアルインタフェースボードのディップスイッチで設定できない条件は、インタフェースモードで設定してください。

8. 動かしてみよう

本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を説明します。

操作パネル部



ディスプレイ

各種メッセージを2行で表示します。

STATUS (LED)

- 赤（点灯または点滅）： エラー状態
- 緑（点灯）： オンライン状態
- 点灯なし： オフライン状態

[LINE] キー

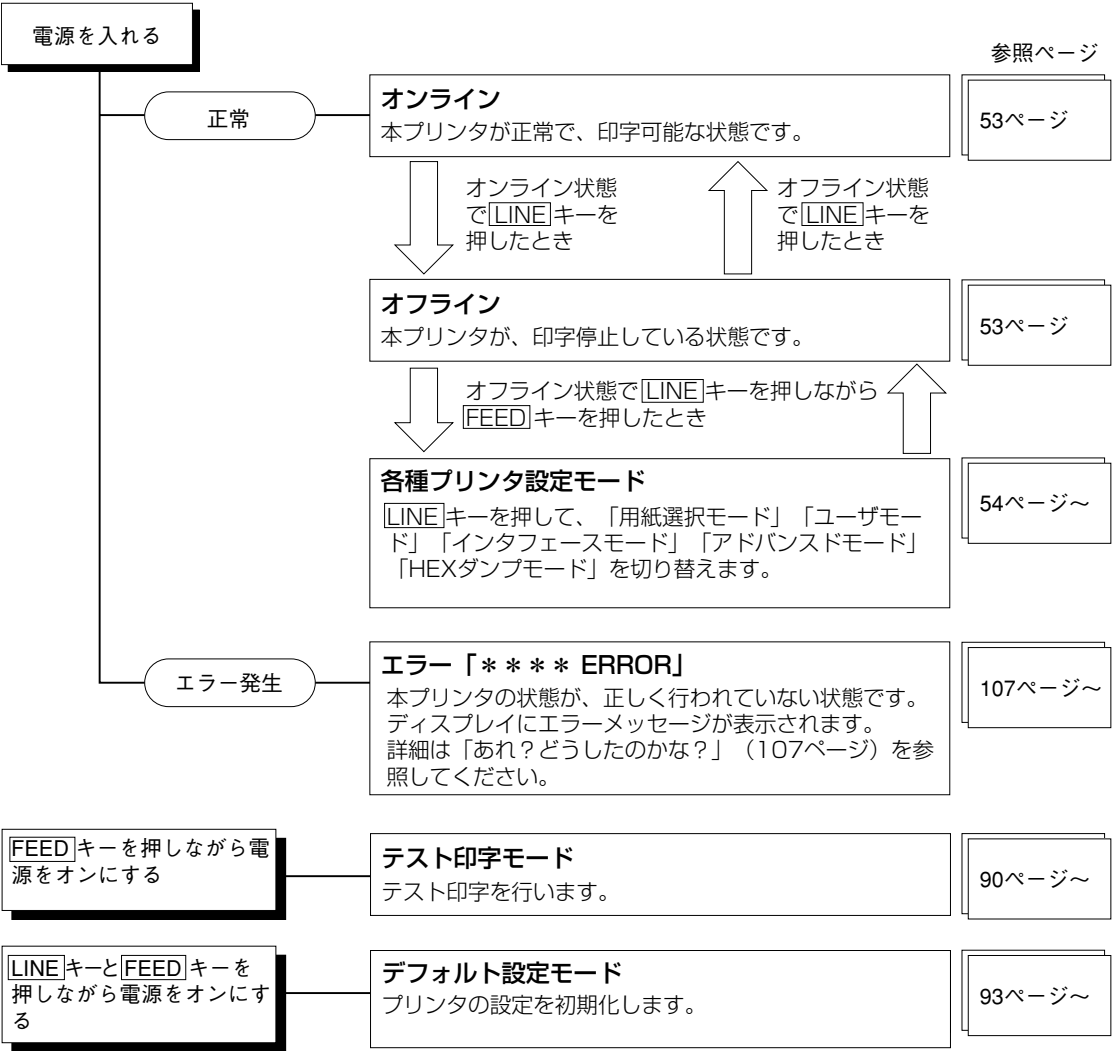
オンライン／オフライン状態を切り替えます。
また、画面操作時は各項目を選択するキーとなります。

[FEED] キー

オフライン状態で押下すると、用紙が一枚送られます。
また、画面操作時は選択した項目を決定するキーとなります。

操作の流れ

本プリンタを本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。



8
動かしてみよう

詳しい説明

本プリンタの詳しい操作のしかたとディスプレイの表示について説明します。

オンライン操作

本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。

オンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせたり、一時停止させたりします。
- [LINE] キーを押して、オフライン状態に切り替えたり、印字を停止したりすることができます。

ONLINE
000000

オフライン操作

本プリンタが印刷停止している状態です。

オフライン状態のとき、次の操作ができます。

- [LINE] キーを押して、オンライン状態に切り替えます。
- [FEED] キーを押して、用紙を 1 枚送ります。
- [LINE] キーと [FEED] キーを同時に押して、発行中データのキャンセルができます。
- [LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押してプリンタ設定に進みます。

OFFLINE
000000

発行中の印字データキャンセル操作

発行中に [LINE] キーを押すと、発行が一時停止します。

その状態のとき、[LINE] キーと [FEED] キーを同時に押すと、受信済みの印字データをすべてクリアできます。

- ① [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。
- ② [FEED] キーを押して、決定します。

“YES” を選択した場合、完了画面に進み、3 秒後にオフライン状態に戻ります。

“NO” を選択した場合、そのままオフライン状態に戻ります。

CANCEL
YES NO



YES 選択 +
FEED

CANCEL
COMPLETE

プリンタ設定操作

オフライン状態のとき、[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、プリンタの各種設定を行うことができます。

次のページから詳しい設定方法を説明します。

「あれ？どうしたのかな？」で説明します（107 ページ）。

プリンタ設定

プリンタ設定モードでの詳しい設定方法を説明します。

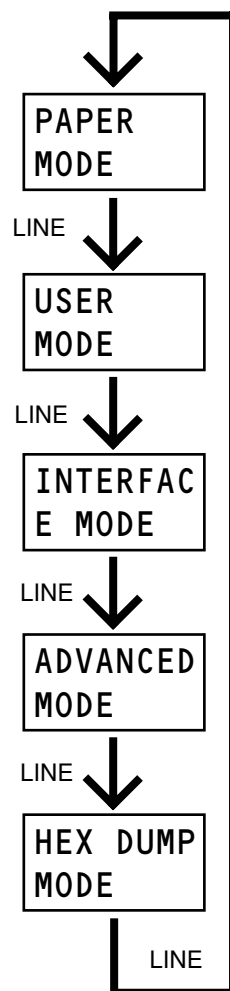
- ① オンライン状態から [LINE] キーを押して、オフライン状態にします。



OFFLINE
000000

- ② オフライン状態で [LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押します。

プリンタ設定選択画面（右図）が表示されます。



- ③ プリンタ設定モードでは、LINE キーを 1 回押すごとに、設定する項目が切り替わります。

[FEED] キーで設定する項目を選択します。

- ④ 各プリンタ設定モードで [LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、オフラインへ戻ります。

プリンタ設定モードには次の5つのモードがあります。

PAPER MODE

- 用紙選択モード (56 ページ)
使用する用紙とセンサを設定します。

USER MODE

- ユーザモード (57 ページ)
印字条件の設定を行います。以下項目が設定できます。
 - － 印字ボリューム調整
 - － 印字速度
 - － 印字濃度
 - － 印字位置補正
 - － ゼロスラッシュ
 - － JIS コード
 - － 漢字フォント
 - － 文字幅 (プロポーショナルピッチ)

INTERFAC E MODE

- インタフェースモード (62 ページ)
インタフェースの設定を行います。以下項目が設定できます。
 - － インタフェース設定
 - － Key-Bo ポート

ADVANCED MODE

- アドバンスドモード (73 ページ)
拡張機能の設定をします。以下項目が設定できます。
 - － 印字濃度レンジ
 - － 動作モード
 - － バックフィード動作
 - － 印字モード
 - － ピッチセンサ
 - － ヘッドチェック設定
 - － 用紙サイズチェック設定
 - － 外部信号出力
 - － オートオンライン設定
 - － 初期フィード
 - － オンラインフィード設定
 - － プロトコルコード

HEX DUMP MODE

- HEX ダンプモード (89 ページ)
 - － ダンプデータの設定を行います。



PAPER
MODE

用紙選択モード

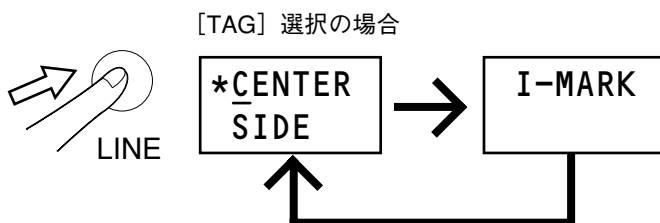
使用する用紙とセンサを設定します。

- ① [FEED] キーを押すと、TAG／LABELの選択画面が表示されます。
[LINE] キーを押すと、“*”が移動し、[FEED] キーで選択・確定します。
*がついている項目が選択されている項目です。



*TAG
LABEL

- ② 使用する用紙種（センサ）を選択します。
[LINE] キーを押すごとに、選択項目が切り替わります。
項目の前に*があるのが現在の設定値です。



[LABEL] 選択の場合

*GAP
I-MARK

選択できる用紙とセンサは次の通りです。

[TAG] を選択した場合

- CENTER：タグ・センターホール検知（ギャップセンサ）
- I-MARK：タグ・アイマーク検知（アイマークセンサ）
- SIDE：タグ・サイドホール検知（ギャップセンサ）

[LABEL] を選択した場合

- GAP：ラベル・ラベルギャップ検知（ギャップセンサ）
- I-MARK：ラベル・アイマーク検知（アイマークセンサ）

- ③ [FEED] キーを押して、設定を確定します。
オフライン画面に戻ります。

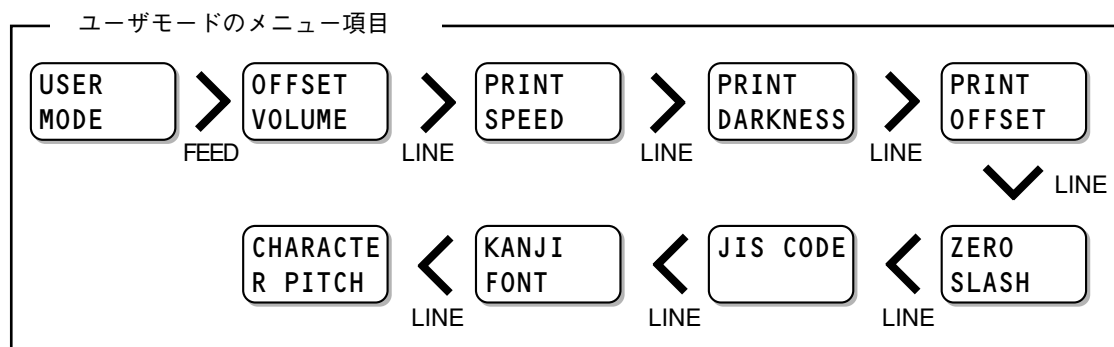


OFFLINE
000000



USER MODE ユーザモード

印字条件の設定を行います。



OFFSET VOLUME 印字調整ボリュームの表示

プリンタ右側面の調整用ボリューム設定値を表示します。

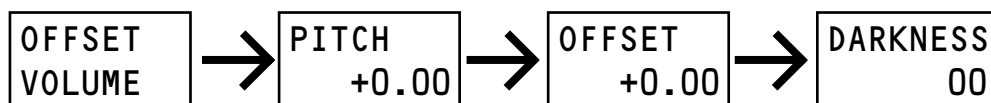
[LINE] キーを押すと設定値を表示せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、オフライン画面に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。



- ② [FEED] キーを押すごとに、表示項目が切り替わります。



- ③ [FEED] キーを押し、次の設定に進みます。



プリンタの印字速度を設定します。

設定値は02～05 インチ／秒で1 インチ／秒ごとに設定できます。

用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られない時は、速度を下げてください。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

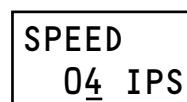
印字速度設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押すごとに、設定値が+1 されます。

02 インチ／秒がいちばん遅く、05 インチ／秒がいちばん速くなります。

初期値は04 インチ／秒になります。



* IPS：インチ／秒

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



プリンタの印字濃度を設定します。

印字の濃度（濃さ）を1～5で設定できます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

印字濃度設定画面が表示されます。

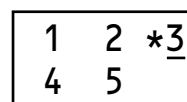


② [LINE] キーを押して、印字濃度を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

1～5までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。1がいちばん薄く、5がいちばん濃くなります。

初期値は3になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



印字位置補正とは、用紙に印字する位置を基準設定する操作です。

単位はドット単位です。1 ドットの長さは 0.125mm です。

設定値は -400 ～ +400 ドットで設定できます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

印字位置補正とは

本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するかを設定します。

V：印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+” と “-” は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後ろ

“-”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+” と “-” は移動する方向です。

“+”：フレーム側（奥側）

“-”：カバー側（外側）

① [FEED] キーを押します。

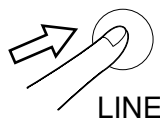
印字位置補正設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押すごとに、カーソル位置の値が+1 されます。

カーソル位置が符号の下にある場合、“+” “-” を切り替えます。

初期値は V：+000、H：+000 です。



V: ±000
H: +000

③ [FEED] キーを押して、右側の桁に移動します。

右端の桁にカーソルがある場合、[FEED] キーを押すと設定値を保存して、次の設定に進みます。



ゼロ表示（漢字は除く）を“0”または、“0”に設定できます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

ゼロスラッシュ設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“ON” “OFF” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

“ON” を選択するとスラッシュ付きの“0”に、“OFF”を選択すると、スラッシュなしの“0”が印字されます。

初期値は“OFF”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



取り扱う JIS 漢字コードを JIS コード、シフト JIS コードに設定できます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

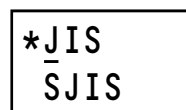
JIS コード設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“JIS” “SJIS” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“JIS”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



印字漢字書体フォントのゴシック体、明朝体を設定できます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

漢字フォント設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“MINCHO”（明朝）、“GOTHIC”（ゴシック）を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“GOTHIC”（ゴシック）になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するか、文字幅を固定で印字するか）を設定できます。

[LINE] キーを押すとオフライン画面に戻ります。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

プロポーショナルピッチ設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“PROPORT” “FIXED” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

PROPORT (IONAL)：文字によって幅を詰めて印字します。

FIXED：文字幅を固定にして印字します。

初期値は“FIXED”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、オフライン画面に戻ります。



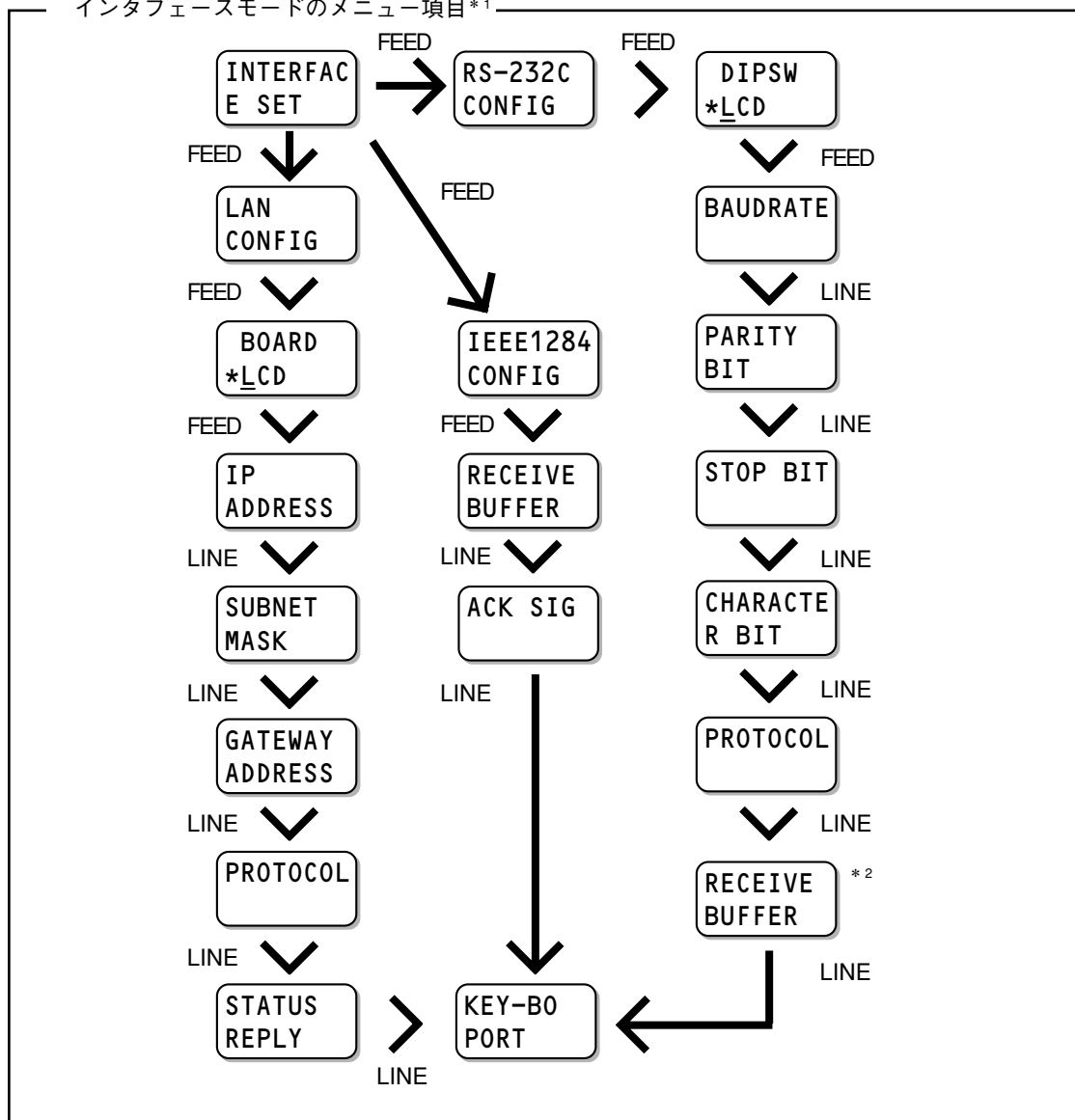


INTERFACE MODE

インタフェースモード

プリンタに装着されているインタフェースを自動認識し、各インタフェースボードの設定を表示します。それぞれのインタフェースボード（オプション）の設定を行います。

インタフェースモードのメニュー項目*1



* 1 USB インタフェースボード接続時の設定画面は表示されません。

* 2 通信プロトコル設定が "RDY/BSY" または "XON/XOF" の場合のみ表示されます。

プリンタに接続されているインタフェースの通信設定を行います。

ここで設定できるインタフェースボードは「LAN」「RS-232C」「IEEE1284」です。

「LINE」キーを押すと設定値を変更せずに「Key-Boポート」(72ページ)に進みます。

「LINE」キーを押しながら「FEED」キーを押すと、オフライン画面に戻ります。

OFFLINE
000000

① 「FEED」キーを押します。

プリンタに接続されているインタフェースボードの設定画面が表示されます。



LAN
CONFIG

IEEE1284
CONFIG

RS-232C
CONFIG

LAN
CONFIG

LAN インタフェースボードを装着している場合

「FEED」キーを押し、次の設定に進みます。

この画面はLANインタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

*BOARD
LCD

LAN 優先設定

LAN通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

「LINE」キーを押しながら「FEED」キーを押すと、前の画面に戻ります。

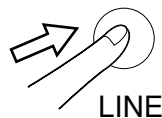
① 「LINE」キーを押して、「BOARD」「LCD」を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

BOARD：インタフェースボードの設定を優先します。

LCD：操作パネルでの設定を優先します。

初期値は「BOARD」になります。



② 「FEED」キーを押し、設定を確定します。

「BOARD」を選択した場合、「ステータス返送タイミング設定」(66ページ)の画面が表示されます。

「LCD」を選択した場合、次の設定に進みます。



IP アドレスを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の画面に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

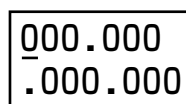
IP アドレス設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押すごとに、カーソル位置の値が+1 されます。

設定できる範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

初期値は “000.000.000.000” です。



③ [FEED] キーを押して、右側の桁に移動します。

最後の桁にカーソルがある場合、[FEED] キーを押すと設定値を保存して、次の設定に進みます。



サブネットマスクを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

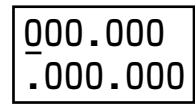
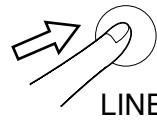
サブネットマスク設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押すごとに、カーソル位置の値が+1 されます。

設定できる範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

初期値は “000.000.000.000” です。



- ③ [FEED] キーを押して、右側の桁に移動します。

最後の桁にカーソルがある場合、[FEED] キーを押すと設定値を保存して、次の設定に進みます。



ゲートウェイアドレスを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

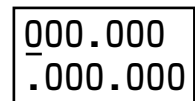
ゲートウェイアドレス設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押すごとに、カーソル位置の値が+1 されます。

設定できる範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。

初期値は “000.000.000.000” です。



- ③ [FEED] キーを押して、右側の桁に移動します。

最後の桁にカーソルがある場合、[FEED] キーを押すと設定値を保存して、次の設定に進みます。



通信プロトコルを設定します。

[LINE] キーを押すと、設定値が“STATUS3”の場合は「Key-Bo ポート」(72 ページ) へ、“STATUS4”の場合は次の設定へ進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

通信プロトコル設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“STATUS3” “STATUS4” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“STATUS4”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、設定値が“STATUS3”の場合は「Key-Bo ポート」(72 ページ) へ、“STATUS4”の場合は次の「ステータス返送タイミング設定」へ進みます。



ステータス情報をホストに返送するタイミングを設定します。

[LINE] キーを押すと、「Key-Bo ポート」(72 ページ) へ進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

ステータス返送タイミング設定画面が表示されます。



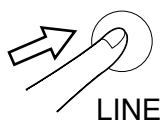
② [LINE] キーを押して、“ENQ” “CYCLE” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENQ : ホスト PC からステータス要求 (ENQ) 受信により返送します。

CYCLE : 500m 秒間隔でプリンタよりホスト PC にステータスを返送します。

初期値は“ENQ”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定を有効にするにはプリンタの再起動が必要です。

設定値を保存して、「Key-Bo ポート」(72 ページ) へ進みます。



[FEED] キーを押し、次の設定に進みます。

この画面はパラレル (IEEE1284) インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

RECEIVE
BUFFER

受信モード設定

受信モードを設定します。

[LINE] キーを押すと、設定値が“MULTI”の場合は「Key-Boポート」(72ページ)へ、“1ITEM”の場合は次の設定へ進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の画面に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

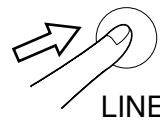
受信モード設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、“MULTI” “1ITEM” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“MULTI”になります。



- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、設定値が“MULTI”の場合は「Key-Boポート」(72ページ)へ、“1ITEM”の場合は次の設定へ進みます。



ACK SIG

ACK 幅設定

ACK 幅を設定します。

設定値は 00.5 ~ 12.0 μ s で、00.1 μ s ごとに設定します。

[LINE] キーを押すと、「Key-Boポート」(72ページ)へ進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

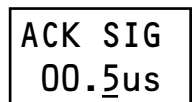
- ① [FEED] キーを押します。

受信モード設定画面が表示されます。



- ① [LINE] キーを押すごとに、設定値が +0.1 μ s されます。

初期値は 00.5 μ s です。



- ② [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定を保存して「Key-Boポート」(72ページ)の画面に進みます。



[FEED] キーを押し、次の設定に進みます。

この画面はRS-232Cインタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

RS-232C 優先設定

RS-232C通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

- ① [LINE] キーを押して、“DIPSW” “LCD” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

DIPSW：インタフェースボードの設定を優先します。

LCD：操作パネルでの設定を優先します。

初期値は“DIPSW”になります。



- ② [FEED] キーを押し、設定を確定します。

“DIPSW” を選択した場合、「通信プロトコル設定」(70 ページ) の画面が表示されます。

“LCD” を選択した場合、次の設定に進みます。



ボーレート設定

ボーレートを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

ボーレート設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、ボーレートの値を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“19200”になります。



2400
4800

9600
*19200

38400
57600

- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



パリティビット設定

RS-232Cのパリティビットを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

パリティビット設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、パリティビットの値を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“NONE”になります。



*NONE
ODD

EVEN

- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



ストップビット設定

RS-232Cのストップビットを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

ストップビット設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、ストップビットの値を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“1BIT”になります。



*1BIT
2BIT

- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



RS-232C のデータ長を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

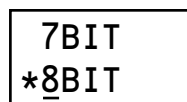
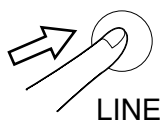
データ長設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、データ長の値を選択します。

項目の前に * があるのが現在の設定値です。

初期値は “8BIT” になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確認します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



通信プロトコルを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

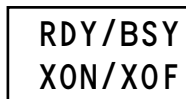
通信プロトコル設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、通信プロトコルを選択します。

項目の前に * があるのが現在の設定値です。

初期値は “STATUS4” (ドライバ専用プロトコル) になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確認します。

設定値を保存して、設定値が “RDY/BSY” または “XON/XOF” の場合は次の設定へ、その他を選択した場合は「Key-Boポート」(次ページ) へ進みます。



受信モードを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

受信モード設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、“MULTI” “1ITEM” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“MULTI”になります。



- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、「Key-Bo ポート」の画面に進みます。



簡易入力装置との接続設定

[FEED] キーを押し、次の設定に進みます。
変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

KEY-BO
PORT

Key-Bo ポート

Key-Bo ポートの有効／無効を設定します。

[LINE] キーを押すと「オフライン」画面に戻ります。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、「インタフェース通信設定」
(63 ページ) の画面に戻ります。

OFFLINE
000000

① [FEED] キーを押します。

Key-Bo ポート設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“ON” “OFF” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ON： 簡易入力装置との接続を自動認識します。

OFF： 簡易入力装置と接続しません。

初期値は“ON”になります。

Key-Bo を接続したままパソコンとプリンタで発行する場合に、この設定を“OFF” にします。



*ON
OFF

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存してオフライン画面に戻ります。



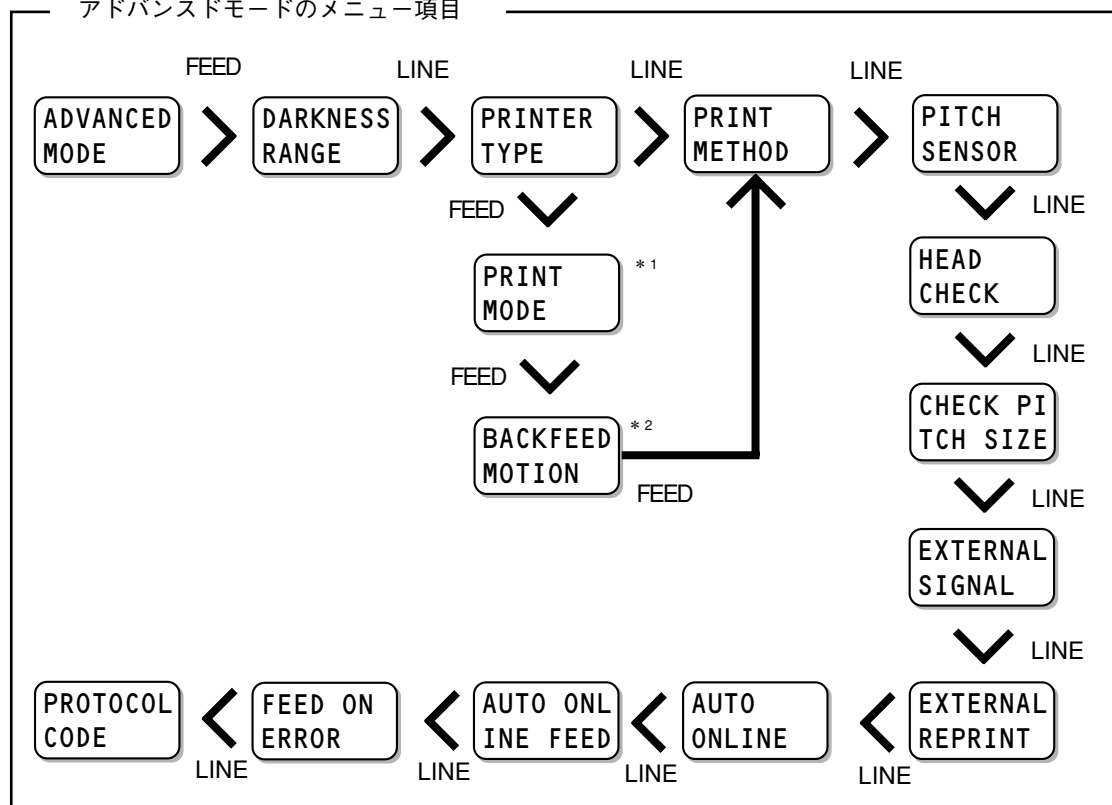


ADVANCED MODE

アドバンスドモード

拡張機能を設定します。

アドバンスドモードのメニュー項目



* 1 “PRINTER TYPE” の設定確定後、“PRINT MODE” の画面に移行します。

* 2 カッタ・ハクリユニット装着時のみ表示されます。

印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを設定します。基本的には設定変更不要です。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、オフライン画面に戻ります。

OFFLINE
000000

- ① [FEED] キーを押します。

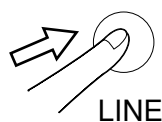
印字濃度レンジ設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、印字濃度レンジの値を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“A”になります。



*A	B	C
D	E	F

- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



動作モード自動設定

オプションユニットの装着状態を認識して、動作モードを自動で切り替える機能を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに「印字モード設定」(79 ページ) に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定画面に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

動作モード自動設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、有効・無効を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

YES：機能を有効にします。

NO： 機能を無効にします。

初期値は“YES” になります。



オプションユニットを接続した状態で他の動作モードに設定する場合、本設定は“NO” にしてください。

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。

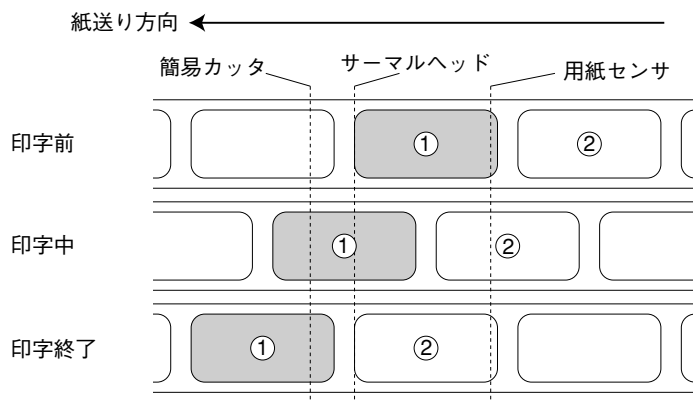


連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタユニットやハクリユニット）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後または1枚フィードの時には、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

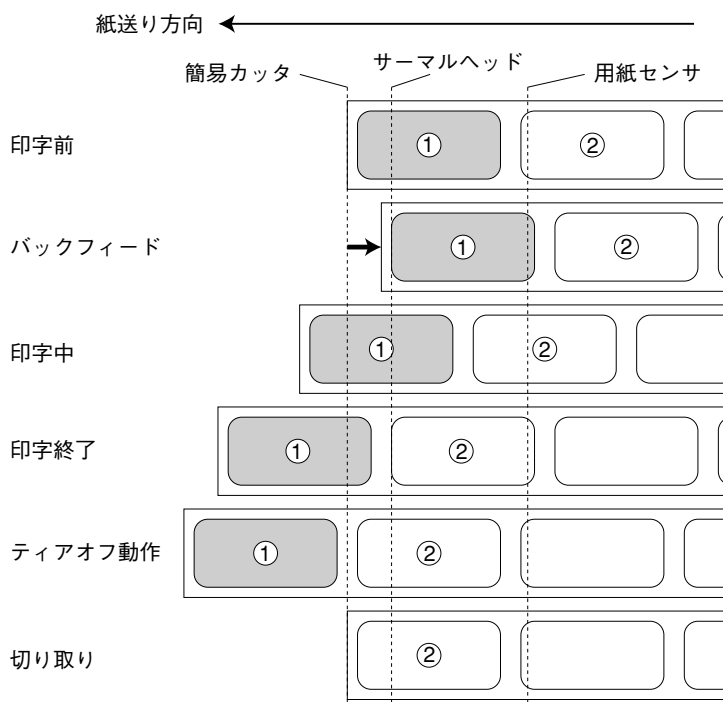


ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送りだします。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。

また、次の印字を行う時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置まで戻り、印字を開始します。



動作モード設定

動作モードを設定します。

- ① [FEED] キーを押します。
動作モード設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、動作モードを選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

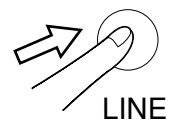
CONTINU (OUS) : 連続印字

TEAROFF : ティアオフ

CUTTER : カッタ

DISPENS (ER) : ハクリ

初期値は“CONTINU (OUS)” (連続印字) になります。



“カッタ” “ハクリ” については、オプションの装着状態により、表示しない場合があります。選択可能な項目は次のようになります。

用紙	オプション ユニット	動作モード			
		CONTINU	TEAROFF	CUTTER	DISPENS
ラベル	なし	○	○	×	×
	カッタ	○	○	○	×
	ハクリ	○	○	×	○
タグ	なし	○	×	×	×
	カッタ	○	×	○	×
	ハクリ	○	×	×	×
センサなし	なし	○	×	×	×
	カッタ	○	×	○	×
	ハクリ	○	×	×	×

○ : 選択可 × : 選択不可

また、設定した動作モードにより、バックフィード動作を変更します。

動作モード	バックフィード動作
TEAR OFF	印字前バックフィード
CUTTER	印字中カット*1
DISPENS (ER)	印字前バックフィード

* 1 センサ無効の場合は、「バックフィードなし」となります。

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値が“CONTINU”“TEAROFF”の場合は「印字モード設定」(次ページ)へ、“CUTTER”“DISPENS”の場合は次の設定に進みます。



BACKFEED
MOTION

バックフィード動作設定

バックフィード動作を設定します。

本設定はカッタユニット、ハクリユニット装着時のみ表示されます。
カッタユニット、ハクリユニット装着時の使用可能なラベルの長さは 25mm ～ 181mm です。

① [FEED] キーを押します。

バックフィード動作設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、動作モードを選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

AFTER： 印字後バックフィード

AFTER2： 印字中カット

BEFORE： 印字前バックフィード

NONE： バックフィードなし

カッタユニット装着時の初期値は“AFTER2”になります。

ハクリユニット装着時の初期値は“BEFORE”になります。

それ以外の場合の初期値は“AFTER”になります。

*AFTER
AFTER2

BEFORE
NONE



動作モードの選択状態により、表示される項目が異なります。

動作モード	バックフィード動作			
	AFTER	AFTER2	BEFORE	NONE
CONTINU (OUS)	×	×	×	×
TEAR OFF	×	×	×	×
CUTTER	○	○	○	○
センサ無効	○	×	○	○
DISPENS (ER)	○	×	○	×

○：選択可 ×：選択不可

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



印字モードを設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、「動作モード自動設定」(75 ページ) に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

印字モード設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、動作モードを選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

TRANSFE (R) : 印字方式を熱転写方式にします。

DIRECT : 印字方式をダイレクトサーマル(感熱)方式にします。

初期値は“TRANSFE (R)” (熱転写) になります。



- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



本設定は動作モードが TEAR OFF / DISPENS (77 ページ) の場合は表示されません。

ピッチセンサの有効/無効を切り替えます。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

用紙センサ設定画面が表示されます。



- ② [LINE] キーを押して、有効/無効を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENABLE : センサを有効にします。

DISABLE : センサを無効にします。

初期値は“ENABLE” になります。



- ③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



ヘッドチェック設定

ヘッドチェック有効／無効の設定をします。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに「外部信号出力設定」(83 ページ)に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定画面に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

ヘッドチェック設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、有効／無効を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENABLE：ヘッドチェック機能を有効にします。

DISABLE：ヘッドチェック機能を無効にします。

初期値は“ENABLE”になります。



*ENABLE
DISABLE

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、設定値が“ENABLE”の場合は次の設定へ、“DISABLE”の場合は「外部信号出力設定」(83 ページ)へ進みます。



ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [LINE] キーを押して、範囲を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

NORMAL：実印字領域をチェックします。

BARCODE：バーコード印字領域のみをチェックします。

初期値は“NORMAL”になります。



② [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読み取りを保証するものではありません。

定期的に読み取りチェックをお願いします(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります)。

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読み取りを行って確認してください。

ラベルなどの貼りつきによる印字抜けは検知できません。定期的な清掃をしてください。

ヘッドエラー発生時の対処方法

注意

- 消耗部品の摩耗です。販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。
- ヘッドエラー発生後にお客様の操作により、エラーを解除して印字発行したラベルは、バーコードの読み取りができないおそれがありますので、読み取りチェックをしてください。

1. ヘッドチェック範囲設定が印字領域の場合、ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

- [FEED] キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
- 通常を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
- バーコードを選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切り替えて発行を再開します。
- [LINE] キー + [FEED] キーを5秒間押すと、オフライン画面へ移行し、[LINE] キーを押すと、ヘッドチェックを一時的に解除して発行を再開します。

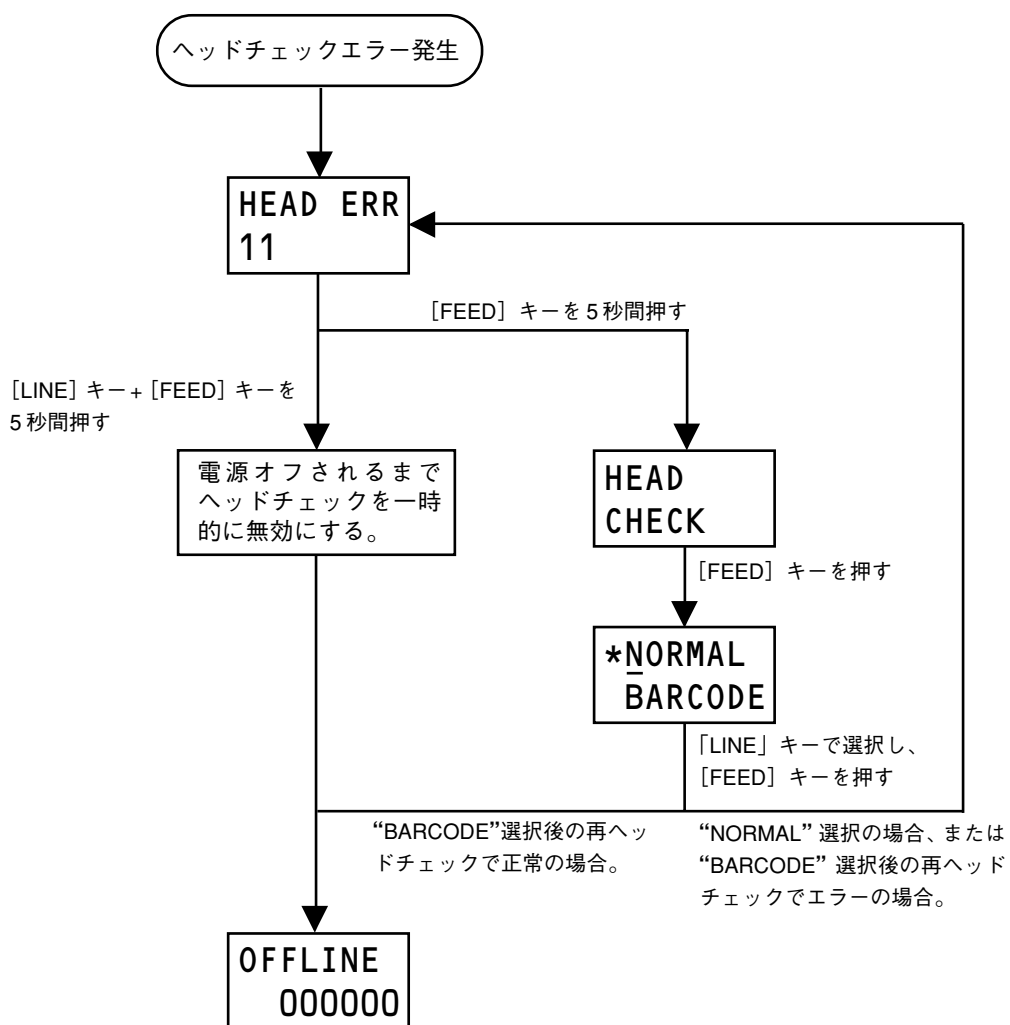
2. ヘッドチェック範囲設定がバーコード印字領域の場合、ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

- [LINE] キー + [FEED] キーを5秒間押すと、オフライン画面へ移行し、[LINE] キーを押すと、ヘッドチェックを一時的に解除して発行を再開します。

注意

ヘッドチェックの一時解除はプリンタの電源をオフにするまで有効です。

ヘッドエラー時のディスプレイ移行



“NORMAL” を選択した場合は、「ヘッドエラー画面」が表示されます。“BARCODE” を選択した場合は、再度ヘッドチェックを行い、その結果がエラーだった場合は「ヘッドエラー画面」へ、正常の場合は「オフライン画面」へ移行します。

用紙サイズチェック設定

用紙サイズチェックの有効／無効を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、「ヘッドチェック設定」(80 ページ) に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

用紙サイズチェック設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、有効／無効を選択します。

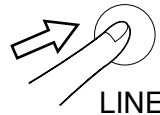
項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENABLE： 用紙サイズチェック機能を有効にします。

DISABLE： 用紙サイズチェック機能を無効にします。

初期値は“DISABLE”になります。

指定した用紙サイズと実際にセットした用紙が±2.5mm以上の場合、「メディアエラー」となります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



外部信号出力設定

外部信号の入出力有無を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに「外部信号再発行機能設定」(次ページ) に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、「ヘッドチェック設定」(80 ページ) に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

外部信号出力設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、有効／無効を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENABLE： 入出力を許可します。

DISABLE： 入出力を禁止します。

初期値は“DISABLE”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、設定値が“ENABLE”の場合は次の設定へ、“DISABLE”の場合は「外部信号再発行機能設定」(次ページ) へ進みます。



PREND 信号の出力タイプを設定します。

本設定は外部信号入出力を“ENABLE”にした場合のみ表示されます。

- 1 [LINE] キーを押して、範囲を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

初期値は“T4”になります。

- 2 [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



詳細はSBPL プログラミングガイドを参照してください。

SBPLプログラミングガイドについては販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

外部信号 7 ピンの入力による再発行機能を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、「外部信号出力設定」(前ページ)に戻ります。

- 1 [FEED] キーを押します。

外部信号再発行機能設定画面が表示されます。



- 2 [LINE] キーを押して、有効/無効を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

ENABLE : 再発行を許可します。

DISABLE : 再発行を禁止します。

初期値は“DISABLE”になります。



- 3 [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



オートオンライン設定

電源をオンにした時のプリンタの状態を設定します。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

オートオンライン設定画面が表示されます。



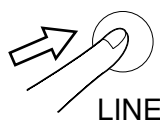
② [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。

項目の前に * があるのが現在の設定値です。

YES：電源を入れた時にオンライン状態で起動します。

NO：電源入れた時にオフライン状態で起動します。

初期値は“YES”になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



初期フィード設定

起動後のオンライン時に自動で用紙フィードを行います。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

初期フィード設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。

項目の前に * があるのが現在の設定値です。

YES：電源入れた時に用紙フィード後、オンライン状態になる。

NO：電源入れた時にオンライン状態で用紙フィードしない。

初期値は “NO” になります。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



エラー復旧後または電源オン後、オンライン状態に移行した際、自動で用紙フィードを行います。

[LINE] キーを押すと設定値を変更せずに次の設定に進みます。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

オンラインフィード設定画面が表示されます。



② [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。

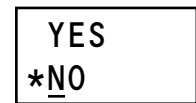
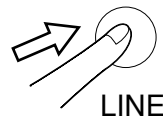
項目の前に*があるのが現在の設定値です。

YES：エラー復旧後、または電源を入れた時に用紙フィード後、オンラインになる。

NO： エラー復旧後、または電源を入れた時に用紙フィードしない。

初期値は “NO” になります。

ただし、“NO” に設定していても初期フィード設定で “YES” に設定した場合、電源オン後のオンライン状態に移行した際、用紙フィードします。



③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。



プロトコルコードのコード設定をします。

[LINE] キーを押すとオフライン画面に戻ります。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、前の設定に戻ります。

① [FEED] キーを押します。

プロトコルコード設定画面が表示されます。

OFFLINE
000000



② [LINE] キーを押して、“STANDAR” “NON-STA” を選択します。

項目の前に*があるのが現在の設定値です。

STANDAR (D) : スタンダードコードとなります。

NON-STA (NDARD) : ノンスタンダードコードとなります。

初期値は “STANDAR (D)” になります。

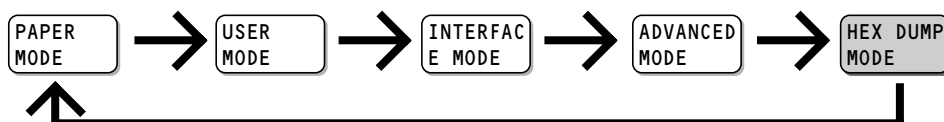


*STANDAR
NON-STA

③ [FEED] キーを押し、設定を確定します。

設定値を保存して、次の設定に進みます。





HEX DUMP
MODE

HEX ダンプモード

ダンプ印字とは、受信したデータを HEX コードで印字することです。
ダンプデータの設定を行います。

SELECT D
UMP DATA

ダンプデータ選択設定

ダンプ印字するデータを選択します。

[LINE] キーを押しながら [FEED] キーを押すと、オフライン画面に戻ります。

- ① [FEED] キーを押します。

ダンプデータ選択設定画面が表示されます。



*ONLINE
BUFFER

- ② [LINE] キーを押して、“ONLINE” “BUFFER” を選択します。

ONLINE：受信したデータをダンプ印字します。

BUFFER：受信済みの印字データ（1 アイテム分）をダンプ印字します。

受信データがない場合は、“BUFFER” を選択しても次の設定に進みません。

“BUFFER” を選択した場合、オフライン画面が表示され、[LINE] キーを押すことで HEX ダンプ印字されます。



- ③ [FEED] キーを押し、ダンプ印字を開始します。

HEX ダンプ発行設定となっている場合、ONLINE の横に “+” を表示します。



+ONLINE
000000

HEX ダンプ印字後はオンライン画面に戻ります。

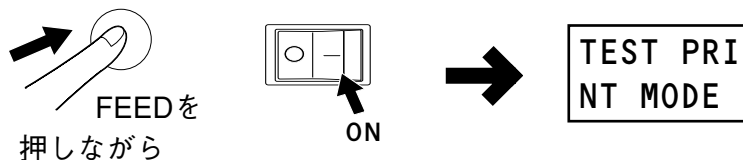
[LINE] キーで一時的に中断（オフライン状態）します。

HEX ダンプ印字を終了させる場合は、発行と一時的に中断した後、または一時停止中に電源を再投入してください。

ONLINE
000000

テスト印字を開始します。

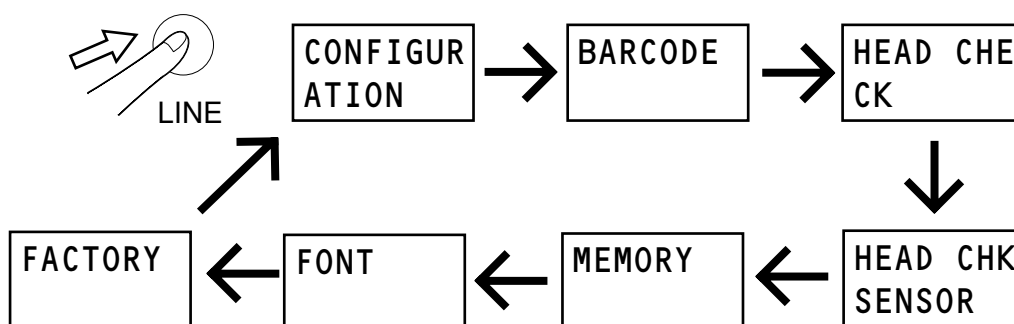
- ① テスト印字モードに入るには、[FEED] キーを押しながら、電源をオンにします。



- ② [FEED] キーを押します。



- ③ [LINE] キーを押すごとに、選択項目が切り替わります。



テスト印字できる項目は次の通りです。

- CONFIGURATION : プリンタ設定を印字します。
- BARCODE : バーコードを印字します。
- HEAD CHECK : ヘッドチェックを印字します。
- HEAD CHK SENSOR : ヘッドチェック、センサ情報を印字します。
- MEMORY : メモリを印字します。
- FONT : フォントを印字します。
- FACTORY : 工場調整用フォーマットを印字します。

④ [FEED] キーを押して、印字する項目を確定します。

選択した項目により、それぞれの設定に移行します。

- “CONFIGURATION”、“BARCODE”、“HEADCHECK”、“HEAD CHK SENSOR” を選択した場合：
→ 「テスト印字サイズ選択」(ページ下部)
- “MEMORY”、“FONT” を選択した場合：
→ 「テスト印字発行」(次ページ)
- “FACTORY” を選択した場合：
→ 「テスト印字サイズ選択」(次ページ)



テスト印字幅を選択します。

設定値は 03 ～ 08cm で、1cm 単位で設定できます。

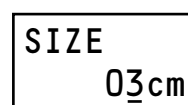
① [FEED] キーを押します。

「テスト印字モード」で “FACTORY” を選択している場合は、次ページの「テスト印字サイズ選択」を参照してください。その他を選択している場合は下の手順に進みます。



② [LINE] キーを押すごとに、設定値が+1 されます。

初期値は “03cm” になります。



③ [FEED] キーを押すと、「テスト印字発行」(次ページ) に進みます。



MEMORY

FONT

を選択した場合

TEST PRT
START PR

テスト印字発行

[FEED] キーを押して、テスト印字を開始します。

- [FEED] キーを押すと、テスト印字の一時停止・開始ができます。
- 2行目は“START PRINT. PRESS FEED KEY” のメッセージをスクロール表示します。
- テスト印字発行を終了するには、一時停止中に電源をオフにしてください。

FACTORY

を選択した場合

TEST
SIZE

テスト印字サイズ選択

8

テスト印字を発行するサイズを選択します。

- ① [LINE] キーを押して、“LARGE” “SMALL” を選択します。

LARGE : 8cm 幅のサイズでテスト印字します。

SMALL : 3cm 幅のサイズでテスト印字します。

初期値は“LARGE” になります。



LARGE
SMALL

- ② [FEED] キーを押すと、「テスト印字発行」(ページ上部) に進みます。



動かしてみよう

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

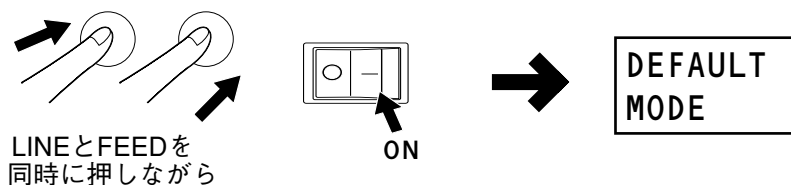
プリンタの設定を初期化します。

初期化とは、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。

このデフォルト設定を行うと、今までの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

- ① [LINE] キーと [FEED] キーを押しながら、電源をオンにします。



- ② [FEED] キーを押します。



- ③ [LINE] キーを押して、“PRINTER SETTING” “ALT.PROTOCOL” を選択します。

PRINTER SETTING：プリンタの設定を初期化します。

ALT.PROTOCOL：プロトコルコードを初期化します。



- ④ どちらかの画面が表示されている状態で [FEED] キーを押して、確認画面に進みます。



PRINTER
YES NO

プリンタ設定初期化の場合

プリンタの設定を初期化します。

- ❶ [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。

YES：プリンタ設定を初期化します。

NO：プリンタ設定を初期化しません。



PRINTER
YES NO

- ❷ [FEED] キーを押して、確定します。

“YES” 選択した場合、初期化した後に完了画面が表示されます。

PRINTER
YES NO



SETTING
COMPLETE

“NO” を選択した場合、“CANCELED” 画面が表示されます。

PRINTER
YES NO



CANCELED

- ❸ 電源をオフにします。

ALT.PROT
YES NO

プロトコルコード初期化の場合

プロトコルコードを初期化します。

- ❶ [LINE] キーを押して、“YES” “NO” を選択します。

YES：プロトコルコードを初期化します。

NO：プロトコルコードを初期化しません。



ALT.PROT
YES NO

- ❷ [FEED] キーを押して、確定します。

“YES” 選択した場合、初期化した後に完了画面が表示されます。

ALT.PROT
YES NO



SETTING
COMPLETE

“NO” を選択した場合、“CANCELED” 画面が表示されます。

ALT.PROT
YES NO



CANCELED

- ❸ 電源をオフにします。

初期設定値一覧

ユーザモード設定操作、インタフェースモード設定操作、アドバンスドモード設定操作の各設定値が次の初期値に戻ります。

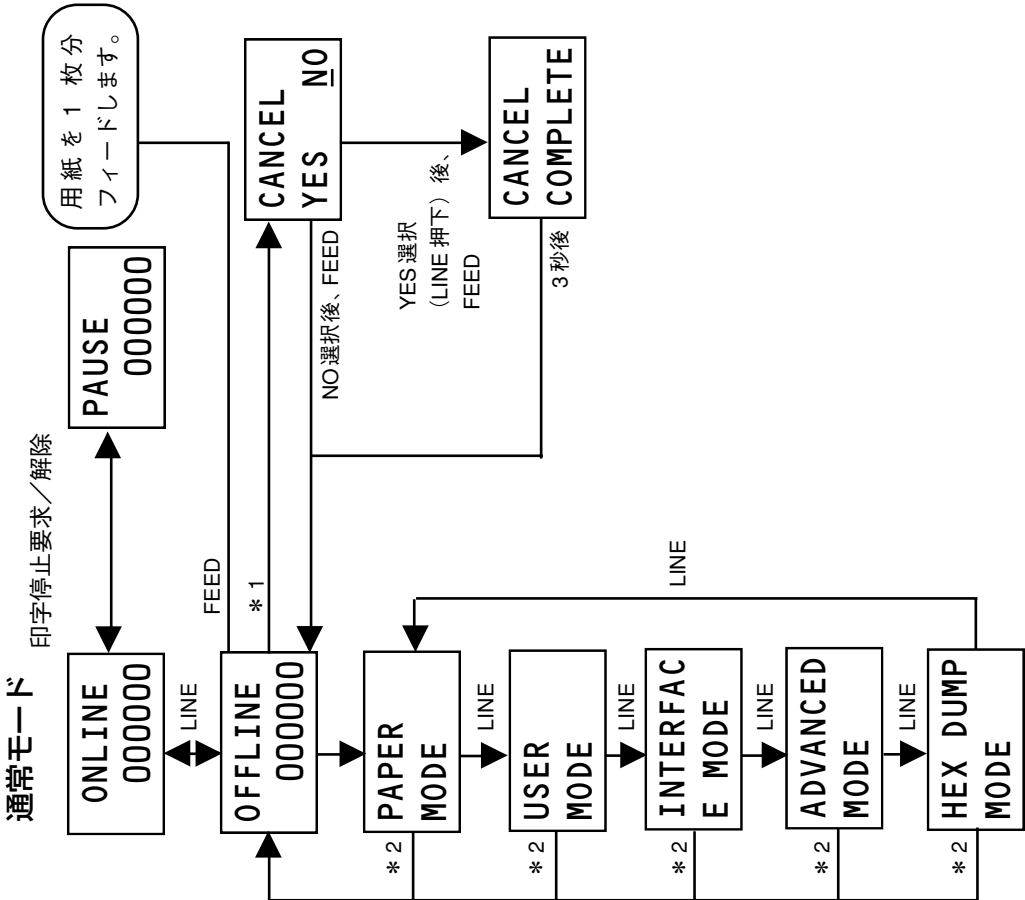
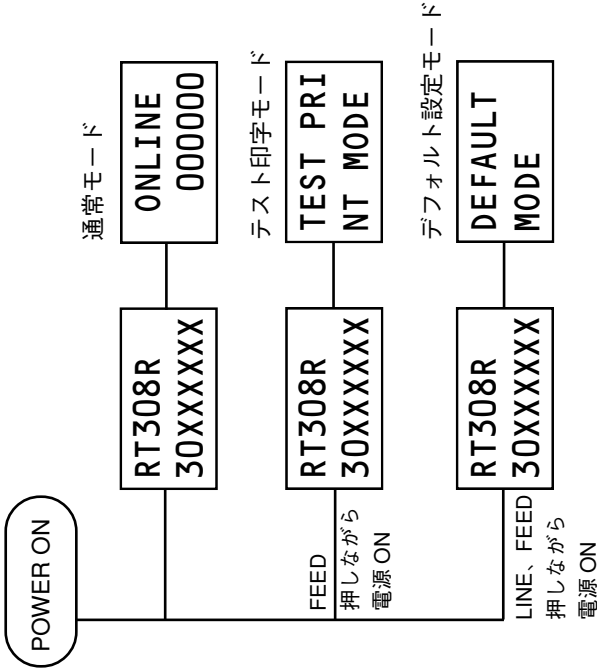
設定項目	初期値	参照ページ
用紙選択モード		
用紙種	センターホールタグ	56ページ
ユーザモード		
印字速度	4インチ	58ページ
印字濃度	3	58ページ
印字位置補正	V : +000 H : +000	59ページ
ゼロスラッシュ	無効	60ページ
漢字コード	JISコード	60ページ
漢字書体	ゴシック体	61ページ
プロポーショナルピッチ	無効	61ページ
インタフェースモード		
LAN優先設定	インタフェースカード上の設定優先	63ページ
IPアドレス	0.0.0.0	64ページ
サブネットマスク	0.0.0.0	65ページ
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	65ページ
通信プロトコル	STATUS4	66ページ
ステータス返送タイミング	ENQ応答	66ページ
IEEE1284/ACK幅	00.5 μ s	67ページ
RS-232C優先設定	インタフェースカード上の設定優先	68ページ
ボーレート	19200	68ページ
パリティビット	NONE	69ページ
ストップビット	1	69ページ
データ長	8	70ページ
通信プロトコル	STATUS4 (ドライバ専用プロトコル)	70ページ
受信バッファ	マルチ受信	71ページ
Key-Boポート	自動認識	72ページ

設定項目	初期値	参照ページ
アドバンスドモード		
濃度レンジ	A	74ページ
動作モード自動設定	有効	75ページ
バックフィード動作	印字中カット (AFTER2)*	78ページ
印字モード	熱転写	79ページ
ピッチセンサ	有効	79ページ
外部信号出力	無効	83ページ
外部信号出力タイプ	タイプ4	84ページ
ヘッドチェック	有効	80ページ
用紙サイズチェック	無効	83ページ
オートオンライン	有効	85ページ
初期フィード	無効	86ページ
オンラインフィード	無効	87ページ
プロトコルコード設定	スタンダードコード	88ページ

* カッタユニット装着時

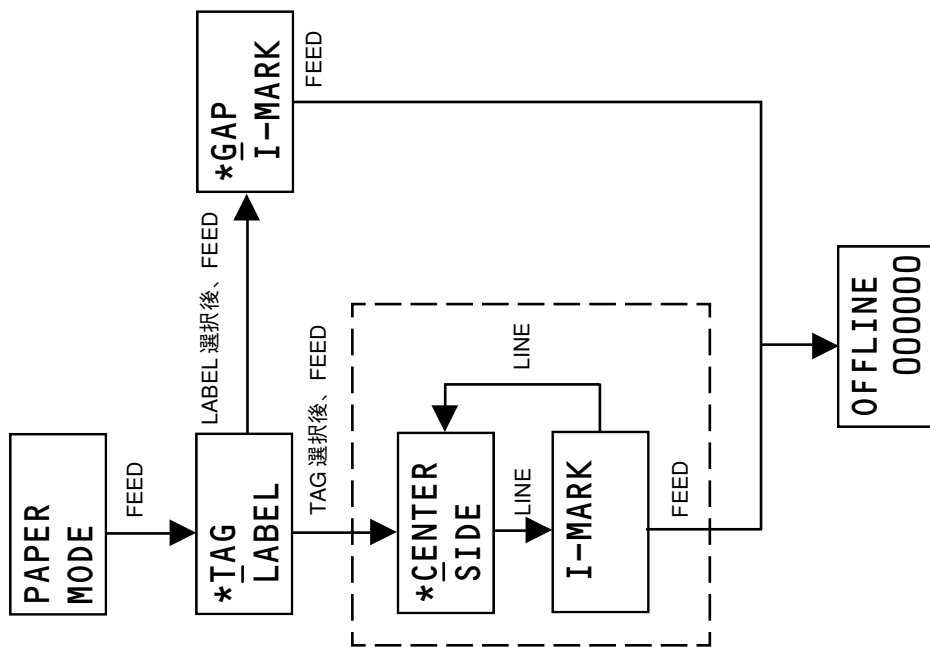
LCD 移行図

LCD モード一覧

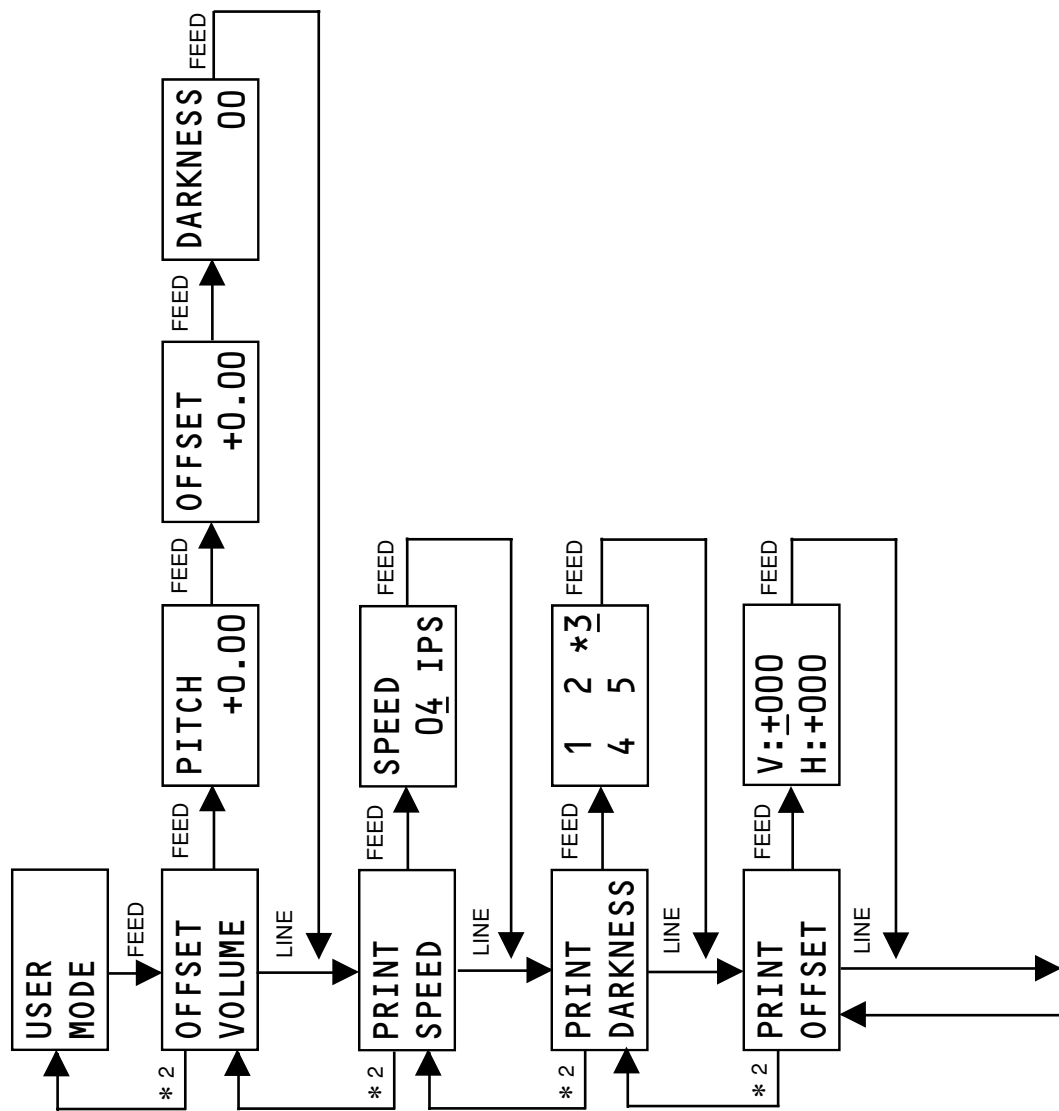


* 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。
* 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。

用紙選択モード



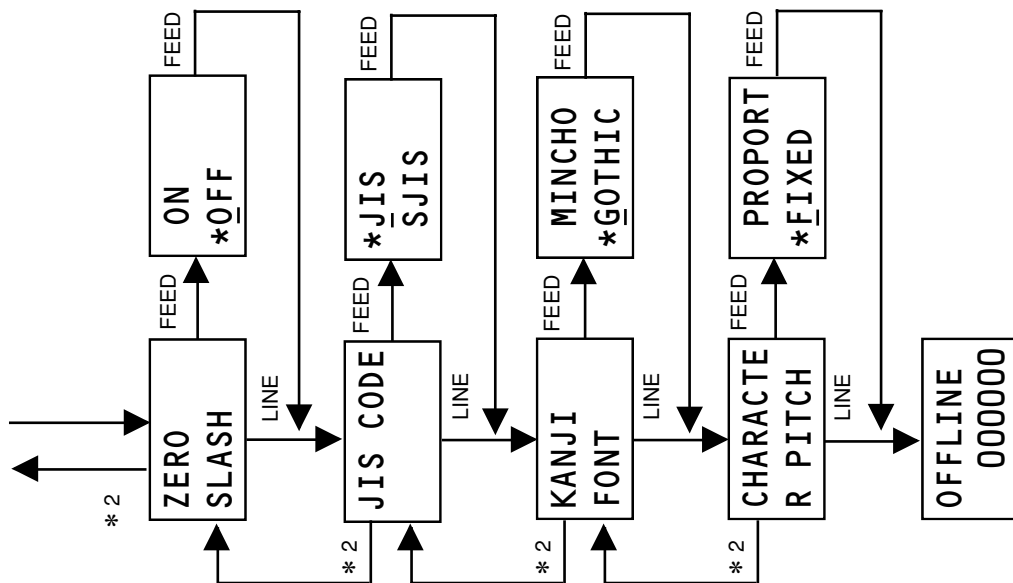
ユーザモード



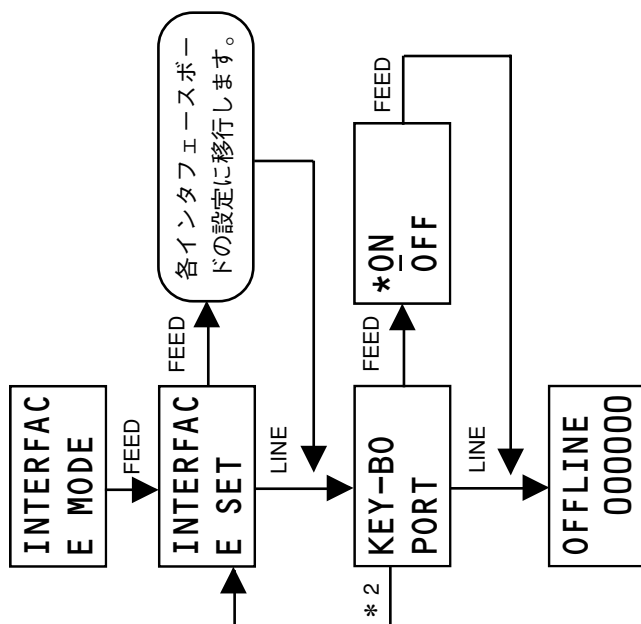
* 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。

* 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。

ユーザモード (続き)

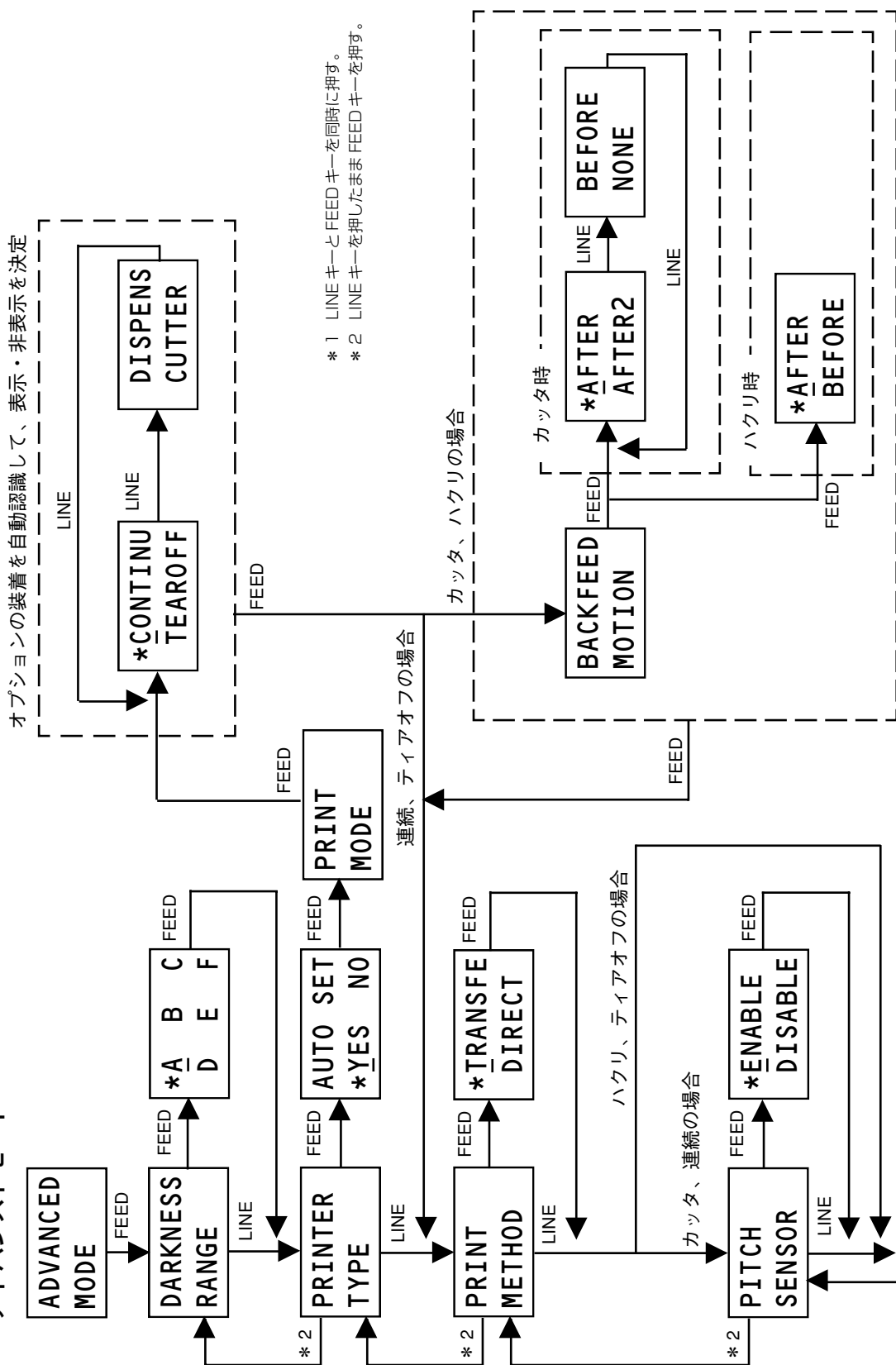


インタフェースモード

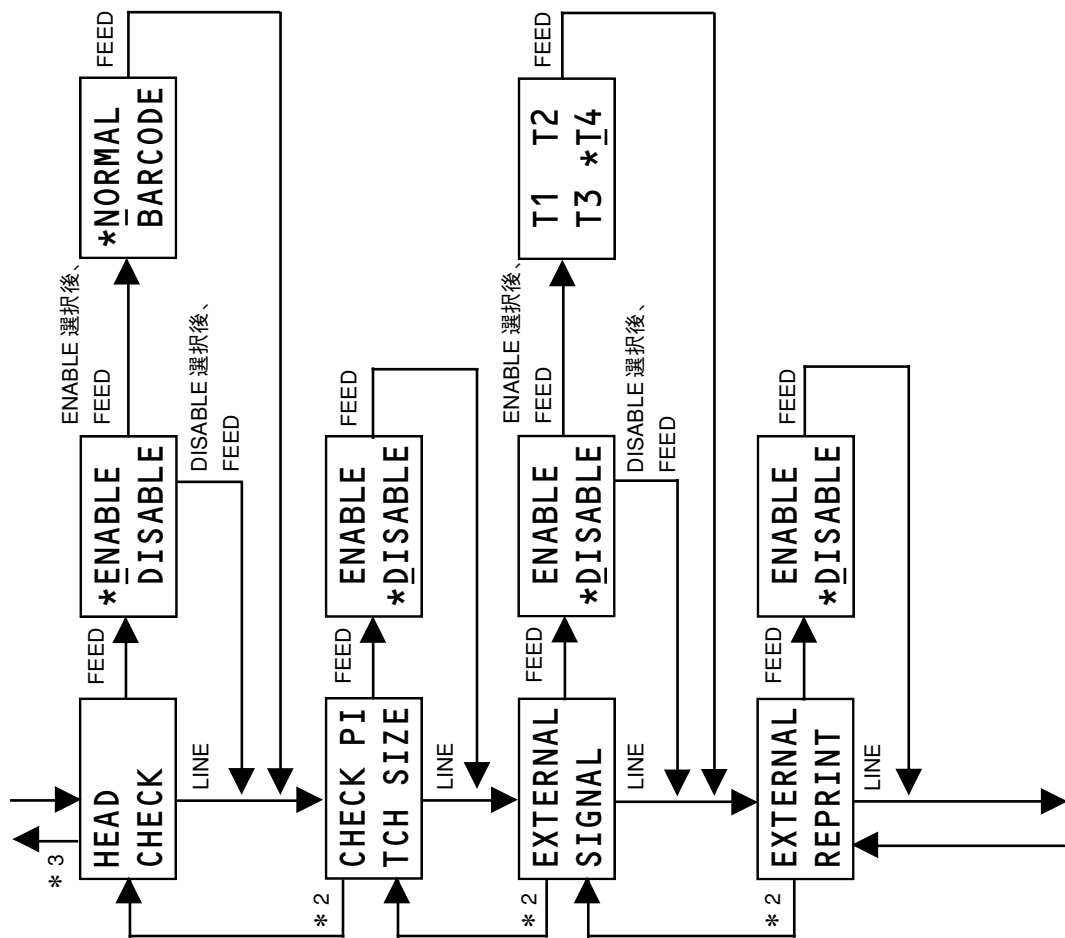


- * 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。
- * 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。

アドバンスドモード

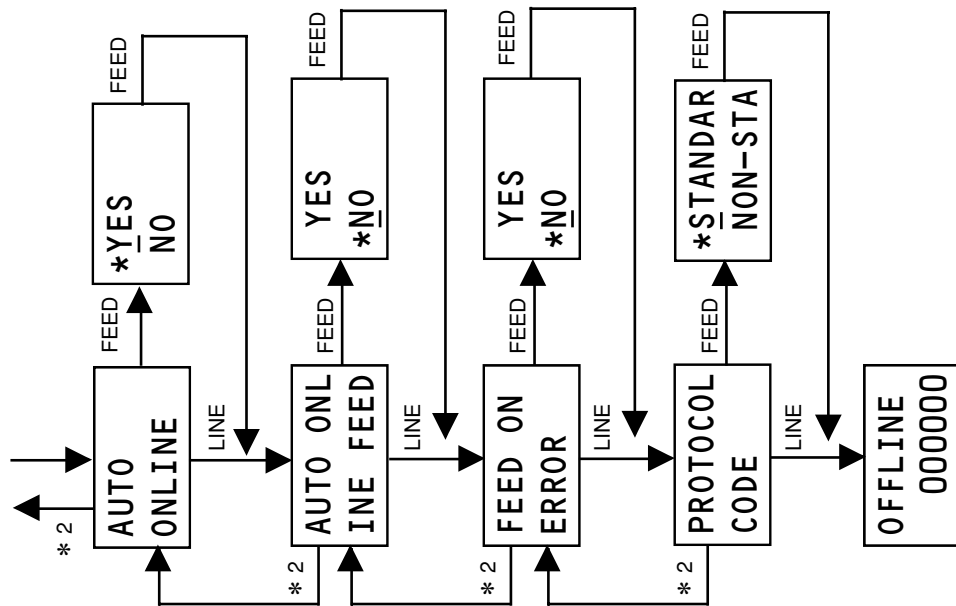


アドバンスドモード (続き)

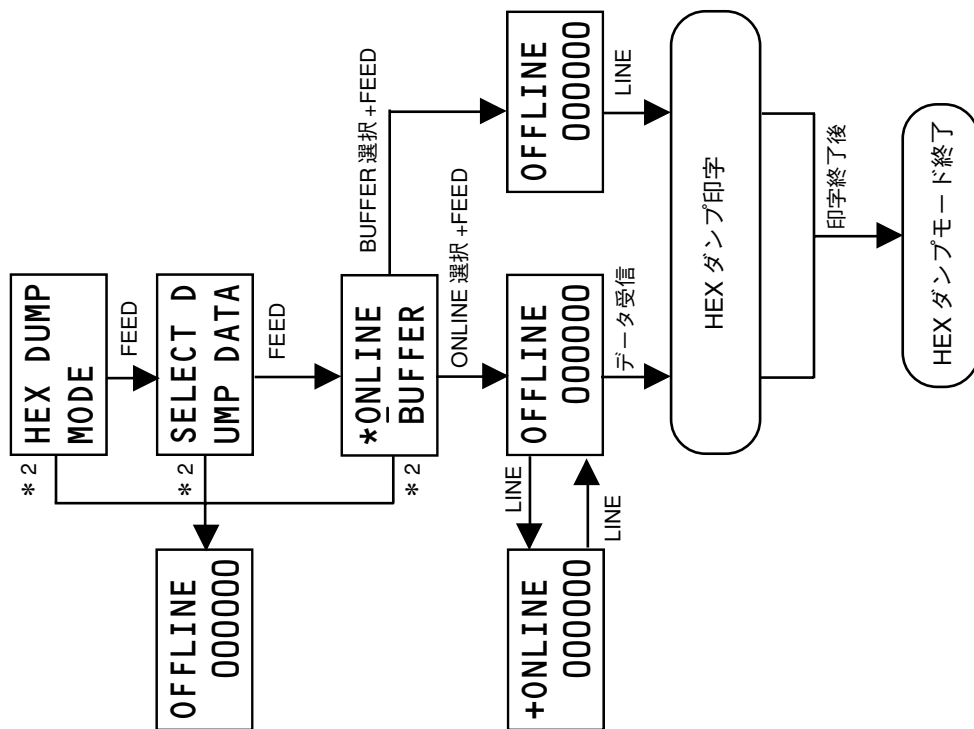


- * 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。
- * 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。
- * 3 カッタ・連続の時、"PITCH SENSOR" へ移行し、ハクリ・ティアオフの時、"PRINT METHOD" へ移行する。

アドバンスモード (続き)



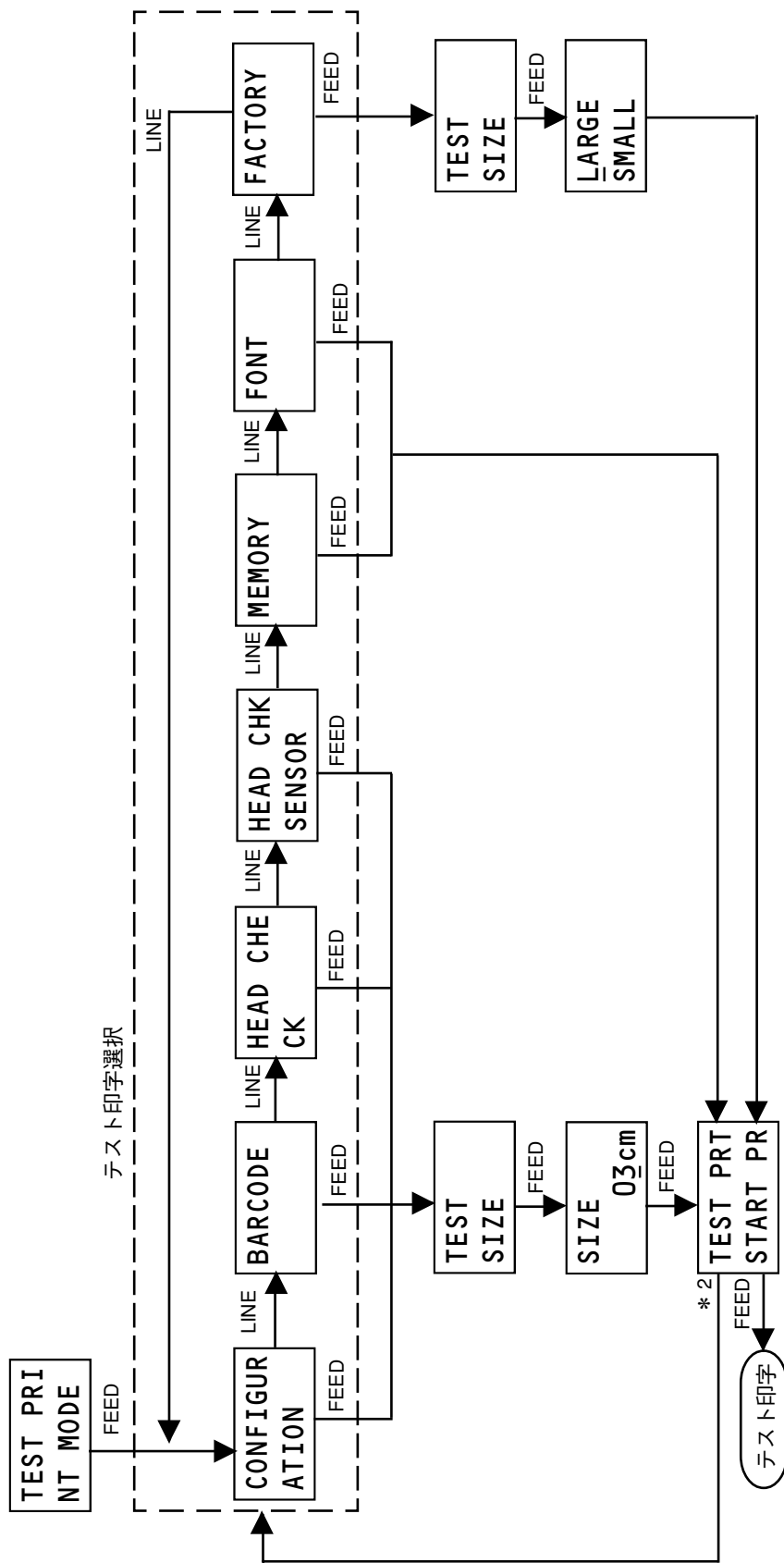
HEX ダンプモード



* 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。

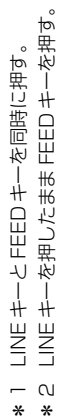
* 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。

テスト印字モード



- * 1 LINE キーと FEED キーを同時に押す。
- * 2 LINE キーを押したまま FEED キーを押す。

106



9. あれ？ どうしたのかな？

本プリンタがエラー状態になったとき、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいかを説明します。また、本プリンタの操作をされていてうまくいかなかったときも、この章をお読みください。

エラーメッセージ

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいか説明します。

ディスプレイ表示のメッセージの1行目はスクロールします。

エラー番号	ディスプレイ表示	説明
01	MACHINE 01	マシンエラーの画面です。 メッセージ：MACHINE ERROR 警告音： 長音1回 原因： 基板不良 対策： 販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
02	FLASHROM 02	フラッシュROMエラーの画面です。 メッセージ：FLASHROM ERROR 警告音： 長音1回 原因： 1.フラッシュROMにアクセスできない。 2.書き込み回数オーバー。 対策： 販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
03	PARITY E 03	パリティエラーの画面です。 メッセージ：PARITY ERROR 警告音： 短音3回 原因： 1.通信条件が合っていない。 2.ケーブル接続異常。 対策： 1.通信条件を確認し、通信条件を合わせてください。 2.ケーブルの接続を確認してください。
04	OVERRUN 04	オーバーランエラーの画面です。 メッセージ：OVERRUN ERROR 警告音： 短音3回 原因： 1.通信条件が合っていない。 2.ケーブル接続異常。 対策： 1.通信条件を確認し、通信条件を合わせてください。 2.ケーブルの接続を確認してください。
05	FRAMING 05	フレーミングエラーの画面です。 メッセージ：FRAMING ERROR 警告音： 短音3回 原因： 1.通信条件が合っていない。 2.ケーブル接続異常。 対策： 1.通信条件を確認し、通信条件を合わせてください。 2.ケーブルの接続を確認してください。

エラー番号	ディスプレイ表示	説明
06	BUFFER 0 06	バッファオーバーの画面です。 メッセージ：BUFFER OVER 警告音： 短音3回 原 因： 1.受信バッファを越えるデータを受信した場合。 2.通信プロトコルが合っていない。 対 策： 1.送信データの容量を確認してください。 2.通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。
07	HEAD OPE 07	ヘッドオープン画面です。 メッセージ：HEAD OPEN 警告音： 短音3回 原 因： 1.ヘッド部がロックされていません。 2.ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常。 対 策： 1.ヘッド部をロックしてください。 2.販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
08	PAPER EN 08	ペーパーエンド画面です。 メッセージ：PAPER END 警告音： 短音3回 原 因： 1.用紙がありません。 2.用紙が正しくセットされていません。 対 策： 1、2.用紙を正しくセットしてください。 それでも表示される場合は販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
09	RIBBON E 09	リボンエンド画面です。 メッセージ：RIBBON END 警告音： 短音3回 原 因： 1.リボンがありません。 2.リボンが切れています。 3.スリットセンサ異常。 対 策： 1.リボンを正しくセットしてください。 2.リボン搬送ルートの清掃をしてください。 それでも表示される場合は販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 3.販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
10	SENSOR E 10	センサエラー画面です。 メッセージ：SENSOR ERROR 警告音： 短音3回 原 因： 1.用紙選択が合っていない。 2.用紙が蛇行しています。 3.用紙センサの位置がずれています。 対 策： 1.ペーパーモードで用紙種を確認してください。 2.スライドガイドを用紙種の幅に合わせてセットしてください。 3.ピッチセンサガイドの位置が合っているか確認してください（30ページ参照）。 それでも表示される場合は販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
11	HEAD ERR 11	ヘッドエラー画面です。 メッセージ：HEAD ERROR 警告音： 長音1回 原 因： ヘッドに異常があります。 対 策： 消耗品が摩耗しているので販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

エラー 番号	ディスプレイ 表示	説明
12	MEMORY R 12	読み込み／書き込みエラーの画面です。 メッセージ：MEMORY R/W ERROR 警告音： 長音1回 原 因： ダウンロード中に読み込み／書き込みエラーが発生しました。 対 策： 販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
13	MEMORY F 13	メモリ容量不足の画面です。 メッセージ：MEMORY FULL 警告音： 長音1回 原 因： メモリの空き領域がありません。 対 策： ダウンロードデータのサイズを確認してください。 メモリの不要なデータを消してください。
14	CUTTER E 14	カッタエラーの画面です。 メッセージ：CUTTER ERROR 警告音： 短音3回 原 因： 1.カッタ部で用紙が詰まりました。 2.カッタ刃が正しく動作していません。 対 策： 1.カッタ部の清掃をしてください。 2.販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
16	DOWNLOAD 16	ダウンロードデータエラーの画面です。 メッセージ：DOWNLOAD DATA ERROR 警告音： 長音1回 原 因： 1.通信条件が合っていません。 2.ケーブル接続異常。 3.データチェックの結果が異常です。 4.カードデータが破損しています。 対 策： 1.通信条件を確認し、通信条件を合わせてください。 2.ケーブルの接続を確認してください。 3.ダウンロードデータを確認してください。 4.販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
18	KANJI RO 18	漢字ROMエラーの画面です。 メッセージ：KANJI ROM ERROR 警告音： 短音3回 原 因： メモリ基板異常。 対 策： ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
28	MEDIA ER 28	用紙サイズチェックエラーの画面です。 メッセージ：MEDIA ERROR 警告音： 短音3回 原 因： 指定した用紙サイズが合っていません。 対 策： 指定したサイズの用紙をセットしてください。

こんなときは？

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、次のことを確認してください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない

電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？

→ 電源コードをコンセントにしっかりと差し込み直します。

本プリンタに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？

→ 電源コードを本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。

電源コードがいたんでいませんか？

→ 電源コードを取り替えてください。

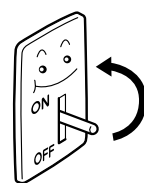
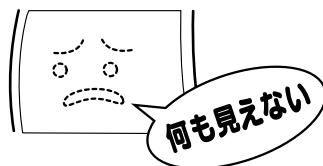
新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店、ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。

本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？

→ 電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。

建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？

→ 建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。



⚠ 注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

紙送りはされるが印字されない

サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？

- サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
ラベルが貼りついていたらはがしてください。

*金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。

このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れ」（116 ページ）を参照し、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。

本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？

- サトー製プリンタには、サトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。

ピッチセンサが汚れていませんか？

- ピッチセンサが汚れていたら、「お手入れ」（116 ページ）を参照し、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？

- 電源を入れ直してください。
それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない

用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？

- 用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。

印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？

- 設定操作で印字濃度を設定し直してください。

プラテンローラが汚れていませんか？

- プラテンローラが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？

- サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
ラベルが貼りついていたらはがしてください。
*金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。
このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れ」(116 ページ)を参照し、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。

汚れた用紙を使っていませんか？

- きれいな用紙を使ってください。

本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？

- サトー製プリンタには、サトーのサブライ“純正”のご使用をお願いします。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。



注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？

- 用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。
また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。

プラテンローラが汚れていませんか？

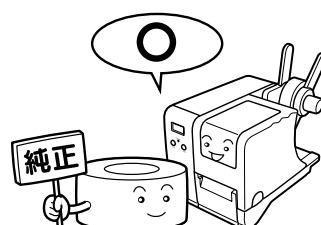
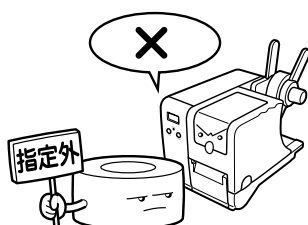
- プラテンローラが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？

- 用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。

本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？

- サトー製プリンタには、サトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。



ピッチセンサが汚れていませんか？

- ピッチセンサが汚れていたら、「お手入れ」(116 ページ)を参照し、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？

- 電源を入れ直してください。
それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

印字位置補正または、文字幅（プロポーショナルピッチ）の内容がおかしくありませんか？

- 印字位置補正 (59 ページ) または、文字幅（プロポーショナルピッチ）(61 ページ) の内容を設定し直してください。

- * プリントクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

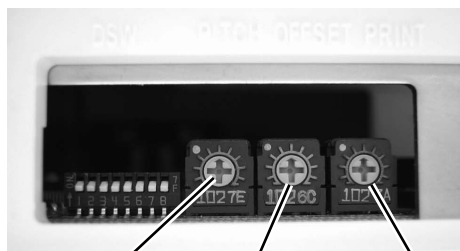
清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

ボリューム調整

カット位置が適正位置にない場合、本体側面のボリュームをボリューム調整用ドライバのプラス側で調整します。

それぞれのボリュームで次の項目を設定できます。

- 用紙停止位置調整（通常は変更しないでください）
- オフセット停止位置（カット停止位置、ハクリ停止位置、ティアオフ停止位置）の調整
- 印字濃度の調整（通常は変更しないでください）



印字位置調整

印字濃度調整

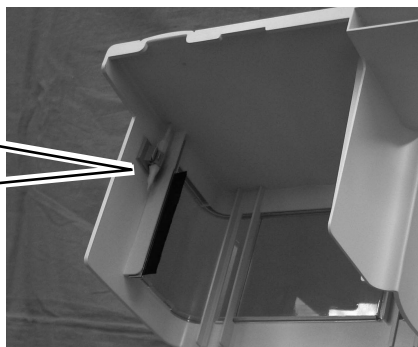
オプション位置（カット位置、ハクリ位置、ティアオフ停止位置）の調整

本項ではオフセット停止位置の調整について説明します。
ボリューム調整の手順は以下の通りです。

- ❶ カバー裏の調整用ドライバを取り外します。

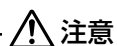


調整用ドライバ



- ❷ 調整用ドライバのマイナス側で本体側面のカバーを開けます

写真の位置から調整用ドライバを差し込んでください。



注意

左側のカバーは特に指示がない限り開けないでください。



- ❸ 調整用ドライバのプラス側で調整します。

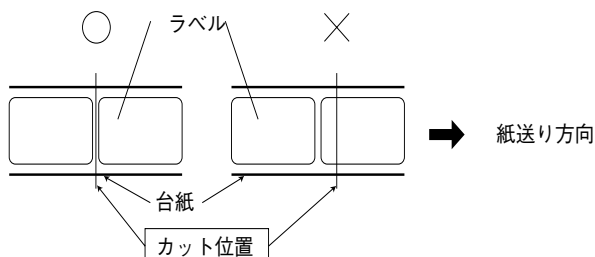


オフセット位置の調整

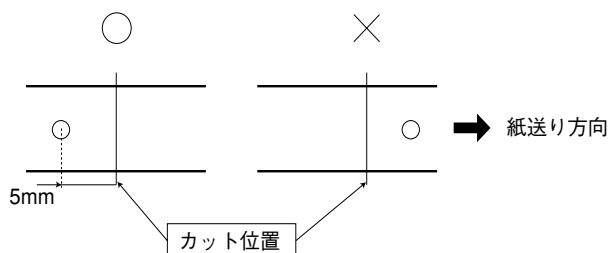
カット位置の調整

用紙のカット位置

ラベル使用時のカット位置はラベルとラベルの間、カストリ（台紙のみの部分）が正規のカット位置となります。



タグ使用時のカット位置は穴の中心から 5mm 手前の位置が正規のカット位置となります。

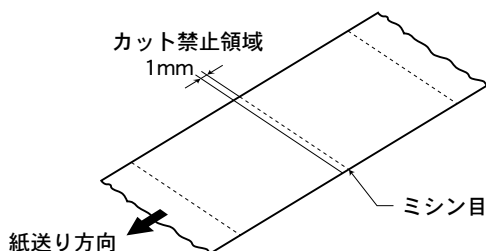


ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前 1mm はカット禁止領域です。

動作不良の原因になります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするように、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用してオフセット停止位置調整用ボリュームの調整を行います。



カット位置の調整方法

カット位置が正規の位置にない場合、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用してオフセット停止位置調整用ボリュームの調整を行います。

- 右回し：印字方向に対し、前に用紙を停止する。
- 左回し：印字方向に対し、後ろに用紙を停止する。

10. お手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*を使って、定期的に清掃してください。

お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラ、ピッチセンサ、スライドガイド
用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
- その他
用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

ラッピングシート*でのお手入れ

用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

お手入れのときの注意

お手入れの時は、次のことに注意してください。

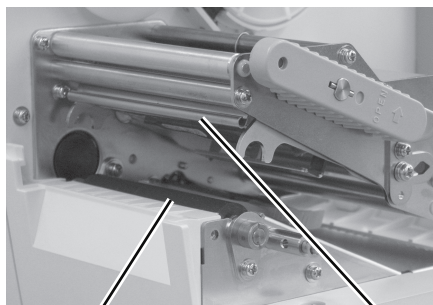
- 上記の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってから行ってください。
- 用紙・カーボンリボンを取り外してから清掃を行ってください。

* プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

お手入れのしかた 1

クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*を使って、次の4か所を清掃してください。

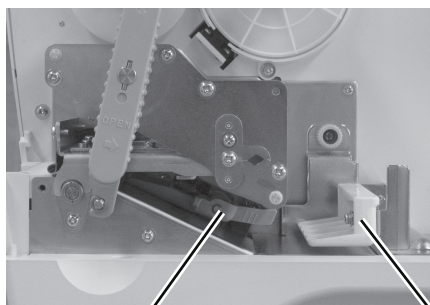
サーマルヘッド部



1. プラテンローラ

2. サーマルヘッド

センサとガイド



3. ピッチセンサ

4. スライドガイド

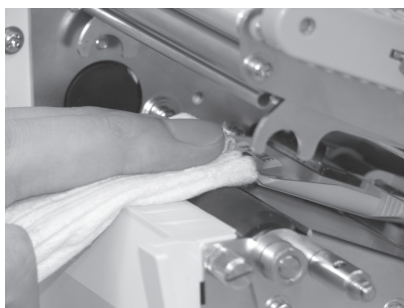
* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

- ① オープンカバー、サーマルヘッド部を開け、ヘッド部分を見えるようにします。
- ② クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
- ③ クリーニング液を綿布に浸して、プラテンローラの汚れを拭き取ります。
- ④ ピッチセンサを引きだし、クリーニングペンでセンサの汚れを拭き取ります。
ピッチセンサを引き出すには、下図を参考にストッパーを矢印の方向に押して、シャフトの溝から外し、ピッチセンサガイドを引き出します。
- ⑤ クリーニング液を綿布に浸して、スライドガイドとペーパーガイドシャフトの汚れを拭き取ります。
汚れがひどい場合は、ペーパーガイドシャフトを取り外して拭き取ってください。

② サーマルヘッドのクリーニング

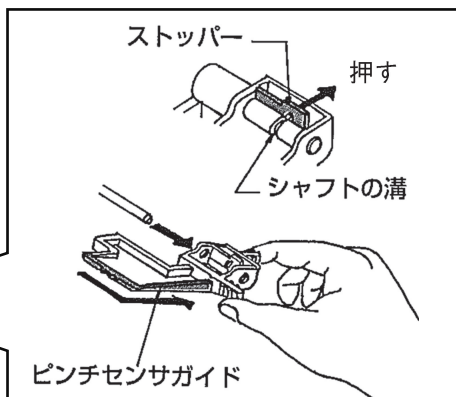
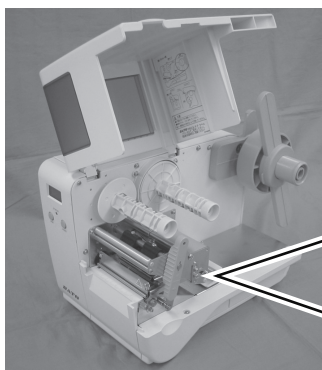


③ プラテンローラのクリーニング

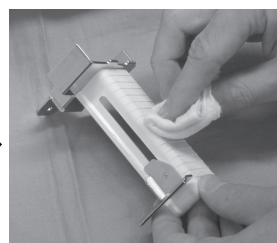
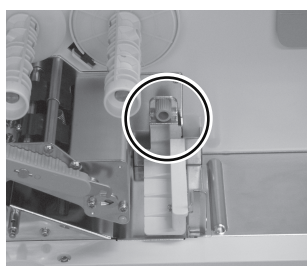


10

④ ピッチセンサのクリーニング



⑤ スライドガイドとペーパーガイドシャフトのクリーニング



ネジを外してペーパーガイドシャフトを取り外します。

お手入れのしかた 2

ラッピングシート*を使って次の部分をクリーニングしてください。

- ① オープンカバー、サーマルヘッド部を開けます。用紙、カーボンリボンを外します。
- ② ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラの間に挟み、サーマルヘッド部を閉じます。
ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側（上面）になるように挟んでください。
- ③ 両手でラッピングシート*を手前に引きます。
手順2と3を2～3回繰り返してください。
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている場合は、さらに数回繰り返してください。
- ④ サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。



- * ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。
- * ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付している「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

消耗品

消耗品には次の2種類があります。

- サーマルヘッド
- プラテンローラ

消耗品の交換は購入された販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

11. 基本仕様

モデル名	バートロニクスRT308R
印字方式	感熱方式／熱転写方式
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm（203dpi）
印字有効エリア	最大 長さ181mm x 幅80mm
印字速度	50～125mm／秒（設定値：50、75、100、125） 2～5インチ／秒（設定値：2、3、4、5） （ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。）
用紙種類／用紙形状	当社製指定用紙／ロール紙
用紙厚	タグ：160～280 μ m（0.16～0.28mm） ラベル：70～265 μ m（0.07～0.265mm） 「ただし、ハクリ発行可能なラベルは135～265 μ m（0.135～0.265mm）」
用紙サイズ	標準 タグ 長さ：25～181mm 幅：32～80mm ラベル 長さ：16mm～178mm（台紙19～181mm） 幅：29～77mm（台紙32～80mm） ティアオフ ラベル 長さ：22～178mm（台紙25～181mm） 幅：29～77mm（台紙32～80mm） ハクリ ラベル 長さ：22～178mm（台紙25～181mm） 幅：29～77mm（台紙32～80mm） カッタ タグ 長さ：25～181mm 幅：32～80mm ラベル 長さ：22～178mm（台紙25～181mm） 幅：29～77mm（台紙32～80mm） ※ 使用条件によってサイズを規制する場合があります。
用紙外径／支管サイズ	用紙外径：最大 250mm（4インチボス使用時） 支管内径：1.5、4インチ（用紙種によって条件があります。）
リボン種類	当社製指定カーボンリボンを必ずお使いください。
リボンサイズ／ リボン形態／ リボン巻方向	リボン長：最大240m巻き リボン幅：最大84mm 巻き方向：裏巻き 巻取り方式：支管巻き
発行モード	標準：連続、ティアオフ オプション：カッタ、ハクリ
寸法／重量	外形寸法 幅211 mm x 奥行350 mm x 高さ240 mm 重量 8kg（標準仕様）

電源仕様	入力電圧：AC100V-240V±10% 消費電力：ピーク時 107VA 104W（印字率30%） 待機時 26VA 24W
環境条件 （温度／湿度）	使用環境 5～40℃／30～80%RH（但し、結露無きこと） 保存環境 -5～60℃／30～90%RH（但し、結露無きこと） ※サプライ製品は除く
インタフェース	1. 通信インタフェース（1スロット） 2. EXTコネクタ 3. D-SUB9ピンタイプ（簡易入力装置Key-Bo専用）
通信インタフェース ボード（オプション）	1. RS-232Cインタフェースボード 2. IEEE1284インタフェースボード 3. LANインタフェースボード 4. USBインタフェースボード（FullSpeed）
オプション	1. カッタユニット（CTR300） 2. 簡易スタッカ（STD300R） 3. 外部巻取ユニット（RWD300R） 4. ハクリユニット（DSD300R） 5. 簡易入力装置Key-Bo 6. 外部巻取機（RW350）
LCD仕様	キャラクタLCD（8桁 x 2行）バックライト付き
操作キー	LINE、FEED
レベル調整	1. アイマークセンサレベル調整（ペーパーエンド検出兼用） 2. ギャップセンサレベル調整（センターホール兼用） 3. ジャンプホールセンサレベル調整 4. 印字濃度調整 5. 印字位置調整 6. カッタ、ハクリ、ティアオフ停止位置調整
用紙長検出センサ	1. アイマークセンサ（反射タイプ） 2. ギャップセンサ（透過タイプ） 3. タグホールセンサ
各種センサ	1. リボンエンドセンサ 2. ペーパーエンドセンサ 3. ジャンプホールセンサ 4. ヘッドオープンセンサ 5. ハクリセンサ（ハクリユニット装着時） 6. カッタセンサ（カッタユニット装着時）
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、 CODE128、GS1-128（UCC/EAN-128）、 CODABAR（NW-7）、ITF、インダストリアル 2of5、 マトリックス 2of5、カスタマバーコード、 UPCアドオンコード、GS1 DataBar（RSS）
2次元コード	QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF、 MAXIコード、GS1データマトリックス（ECC200）
合成シンボル	GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、 GS1 Databar Composite、 GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omni-Directional Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite

標準搭載 フォント	ビット マップ フォント	1. X1文字、 20x50 (英数字、記号、カナ) 2. X2文字、 8x20 (英数字、記号、カナ) 3. X3文字、 13x21 (英数字、記号、カナ) 4. WB文字、 18x30 (英数字、記号、カナ) 5. WL文字、 28x52 (英数字、記号、カナ) 6. OCR-A、 15x22 (英数字、記号) 7. OCR-B、 20x24 (英数字、記号) 8. X70文字、 32x48 (数字、“\$¥ー、”) 斜体 9. X71文字、 40x60 (数字、“\$¥ー、”) 斜体 10. X72文字、 48x72 (数字、“\$¥ー、”) 斜体 11. X73文字、 64x96 (数字、“\$¥ー、”) 斜体 12. X74文字、 32x48 (数字、“\$¥ー、”) 13. X75文字、 40x60 (数字、“\$¥ー、”) 14. X76文字、 48x72 (数字、“\$¥ー、”) 15. X77文字、 64x96 (数字、“\$¥ー、”)
	漢字 フォント	1. 漢字 16x16ドット (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体または明朝体のいずれか選択可能) 2. 漢字 24x24ドット (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体または明朝体のいずれか選択可能)
	アウトラ インフォ ント	英数字、記号、カナ
印字方向 (文字・バーコード)		文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1 (0°)、パラレル2 (180°)、 シリアル1 (90°)、シリアル2 (270°)
バーコード比率		1:2、1:3、2:5任意指定可能
拡大倍率 (文字・バーコード)		文字： 縦1～9倍、横1～9倍 バーコード：1～9倍
搭載機能		1. ステータス返送機能 2. グラフィック機能 3. 連番機能 4. フォームオーバーレイ機能 5. 外字登録機能 6. 白黒反転機能 7. 罫線機能 8. フォーマット登録機能 9. ゼロスラッシュ切り替え機能 10. JIS/シフトJIS切り替え機能
自己診断機能		1. ヘッド切れチェック 2. ペーパーエンド検出 3. テスト印字 4. リボンエンド検出 5. リボンニアエンド検出 6. 漢字データチェック 7. ヘッドオープン 8. カッタエラー (カッタユニット装着時)
ノイズ (EMC) 規格		VCCI Class B

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ
QRコードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

12. アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を安心してご使用いただくため、保守サービス業務を行っております。

保守サービス業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から 5 年間です。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <https://www.sato.co.jp/> でご確認ください。)

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただき、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は 1 台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品“純正”での走行距離 30km（カッタ 30 万回）または納入から 6 か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

索引

A

ACK SIG	67
ACK 幅設定	67
ADVANCED MODE	73
AUTO ONLINE	85
AUTO ONLINE FEED	86

B

BACKFEED MOTION	78
BAUDRATE	68

C

CHARACTER BIT	70
CHARACTER PITCH	61
CHECK PITCH SIZE	83

D

DARKNESS RANGE	74
DEFAULT MODE	93

E

EXTERNAL REPRINT	84
EXTERNAL SIGNAL	83

F

FEED ON ERROR	87
FEED キー	12

G

GATEWAY ADDRESS	65
-----------------------	----

H

HEAD CHECK	80
HEX DUMP MODE	89
HEX ダンプモード	89

I

IEEE 1284	16, 67
IEEE 1284 CONFIG	67
INTERFACE MODE	62
INTERFACE SET	63

IP ADDRESS	64
IP アドレス設定	64

J

JIS CODE	60
JIS コード	60

K

KANJI FONT	61
Key-Bo	16
KEY-BO PORT	72
Key-Bo ポート	72

L

LAN CONFIG	63
LAN インタフェースボード	63
LAN インタフェースボードの設定	49
LAN 優先設定	63
LCD 移行図	98
LINE キー	12

O

OFFSET VOLUME	57
---------------------	----

P

PAPER MODE	56
PARITY BIT	69
PITCH SENSOR	79
PRINT DARKNESS	58
PRINT METHOD	79
PRINT MODE	77
PRINT OFFSET	59
PRINT SPEED	58
PRINTER TYPE	75
PROTOCOL	66, 70
PROTOCOL CODE	88

R

RECEIVE BUFFER	71
RS-232C	16
RS-232C CONFIG	68
RS-232C インタフェースボード	68
RS-232C 優先設定	68
RWD300R	38

S

SELECT DUMP DATA	89
STATUS REPLY	66
STOP BIT	69
SUBNET MASK	65

T

TEST PRINT MODE	90
TEST SIZE	91, 92

U

USER MODE	57
-----------------	----

Z

ZERO SLASH	60
------------------	----

ア

アイマークタグ	22
アドバンスドモード	73
アフターフォロー	123
安全上のご注意	4

イ

印字位置補正	59
印字速度	58
印字濃度	58
印字濃度レンジ設定	74
印字ボリューム	57
印字モード設定	79
インタフェースケーブル	16
インタフェーススロット	12
インタフェース通信	63
インタフェースボード	48
インタフェースボードの取り外し	48
インタフェースモード	62

エ

エラーメッセージ	107
----------------	-----

オ

オートオンライン設定	85
お手入れ	116
オプションユニット	29
オフセット位置	115
オフライン	53
オンライン	53
オンラインフィード設定	87

カ

カーボンリボン	19
ガイドプレート	11, 32
外部信号再発行機能設定	84
外部信号出力設定	83
外部信号出力タイプ設定	84
外部巻取ユニット	38
各部の名称	12
カタユニット	29
カット位置	115
簡易スタッカ	32
簡易入力装置	16, 16
漢字フォント	61

キ

基本仕様	120
キャンセル	53

ケ

ゲートウェイアドレス設定	65
--------------------	----

サ

サーマルヘッド	14
サブネットマスク設定	65

シ

支管	24, 26
支管巻取り	40
受信モード設定	67, 71
消耗品	119
初期化	93
初期設定値一覧	96
初期フィード設定	86

シリアルインタフェースボード (RS-232C) の設定	50
---------------------------------------	----

ス

ステータス返送タイミング設定	66
ストップビット設定	69
スポットサービス	124
スライドガイド	13

セ

設置	8
ゼロスラッシュ	60
センターホールタグ	22

ソ

操作パネル	51
-------------	----

タ

タグガイド	32
タグ	22
ダンプデータ選択	89

チ

調整用ドライバ	114
---------------	-----

ツ

通信プロトコル設定	66, 70
-----------------	--------

テ

データ長設定	70
ティアオフ	76
ティアオフ動作モード	76
テスト印字サイズ選択	91
テスト印字発行	92
テスト印字発行選択	92
テスト印字モード	90
デフォルト設定モード	93
電源	15
電源スイッチ	12
電源を入れてみる	17
電源を切る	18
添付品	11

ト

動作モード自動設定	75
動作モード設定	77

ハ

ハクリユニット	34
バックフィード動作設定	78
パラレルインタフェースボード	67
パリティビット設定	69

ヒ

ピッチセンサ	14
ピッチセンサガイド	30
ピッチセンサ設定	79
標準ユニット	27

フ

プラテンローラ	14
プリンタクリーニングセット	11
プリンタ設定	54
プリンタ設定初期化	94
プレッシャーブラケット	34
プロトコルコード初期化	95
プロトコルコード設定	88
プロポーショナルピッチ	61

ヘ

ペーパーガイドシャフト	13
ヘッドエラー	81, 82
ヘッドチェック機能	81
ヘッドチェック設定	80
ヘッドチェック範囲設定	80
ヘッドロックレバー	13

ホ

ボーレート設定	68
保守契約サービス	124
保守サービス	123
ボス (4 インチコア用アダプタ)	11, 25
ボスカセ 33	43
ボリューム調整	114

マ

マニュアルカッター	43
-----------------	----

モ

文字幅	61
-----------	----

ユ

ユーザモード	57
--------------	----

ヨ

用紙サイズチェック設定	83
用紙選択モード	56
用紙の種類	22
横長タグ	22

ラ

ラッピングシート	11
ラベルアイマーク	23
ラベルギャップ	23
ラベル	23

リ

リボン	19
-----------	----

レ

連続印字	76
連続印字動作モード	76

ロ

ロール紙	24
ロール紙押さえ	12

SATO



Q02144003